令和５年度

摂津市の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

摂津市教育委員会

目次

1　はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1
2　教育委員会について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
（1）教育委員会の構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
（2）教育委員の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
3　点検評価報告書の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P3
4　点検評価について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P4
（1）点検評価の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P4
（2）施策一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P5
（3）点検評価報告書の見方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6
5　具体的な取組
目標 1. 豊かな心を育む教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P8
目標 2. 確かな学力を育む教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P13
目標 3. 健やかな体を育む教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P23
目標 4. 社会を生き抜く力を育む教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P29
目標 5. ともに学び育つ教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P37
目標 6. 学びを続ける機会づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P45
目標 7. 学びを支える環境づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P49
目標 8. 学びを活かす人づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P53
目標 9. 安全安心で快適な教育環境づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・P57
目標10. 地域全体で教育に取り組む体制づくり・・・・・・・・・・・・・・P66

[参考]摂津市が配置等している支援人材の一覧・・・・・・・・・・・・・・P72

１．はじめに

近年、情報化や技術革新による加速度的な社会情勢の変化が著しいことに加え、未曾有の感染症拡大や相次ぐ自然災害の発生、国際情勢の不安定化など、先行きが不透明で予測困難な事象が多発しています。このようなVUCA※1と言われる時代の中で、子どもたちは多様な人々と協働しながら、目まぐるしい変化に対応し、自ら未来を切り開くために必要な資質・能力を身につけなければなりません。

中央教育審議会答申（令和５年３月）「次期教育振興基本計画について」を受け、文部科学省は2040年以降の社会を見据えた教育政策におけるコンセプトとして「持続可能な社会の創り手の育成」及び「日本社会に根差したウェルビーイング※2の向上」を掲げています。不登校やいじめ、貧困など、子どもたちの抱える困難が多様化する中で、一人ひとりのウェルビーイングを確保するとともに、つながりや達成感等からもたらされる自己肯定感を基盤として、主体性や創造力を育み、持続可能な社会の創り手の育成を図る必要があるとされています。

本市においても、学校教育では「子どもたち自身が主役となり夢や未来を見据え学び続けている学校」「学校に関わる全ての人にとって居心地がよくみんなでともに創る持続可能な学校」をめざす学校の姿として示し、子どもたちの主体性や課題発見・解決力等を育む「魅力ある学校づくり」に取り組みました。また、身近なロールモデルとなる地域・企業等との交流やキャリアパスポート等の活用によるキャリア教育を推進し、自分らしい生き方の実現に向けた教育に取り組みました。学校における学びと将来をつなげるこのキャリア教育は、本市の大きな特徴の一つであり、子どもたちの基礎的・汎用的能力の育成に大きく寄与しております。

今後も個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実や教育環境の整備等を進め、子どもたち一人ひとりが抱える困難にきめ細やかに対応するなど、本市の教育理念「つながり未来を拓くせっつの教育」に基づいた学校教育の推進に取り組んでまいります。

生涯学習では、数年ぶりの開催となった事業やイベントもあり、市民が生涯学習活動の成果を発表するなど、学び合いを通じて人とのつながりや関わりを作り出す地域コミュニティ活性化の機会となりました。一方で、オンライン講座の導入や電子図書館の利用促進など、ICT活用による生涯学習活動の充実を図り、「いつでも、どこでも、だれでも」自分に合った方法で学習できる環境整備に取り組みました。

人生100年時代や超スマート社会（Society5.0）など社会が大きな転換点を迎える中、今後も担い手不足の解消や地域コミュニティの活性に向け、時代の変化や地域特性に応じた生涯学習の推進に取り組んでまいります。

本報告書は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条に基づき、本市教育委員会が取組内容を客観的に評価し、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆様へ本市教育委員会の取組を広く理解いただくことを目的に、教育に関する学識経験者からのご意見をいただきながら作成したものです。この結果をふまえ、今後もより良い摂津市の教育の実現に取り組んでまいります。

※1 VUCA：「Volatility：変動性」、「Uncertainty：不確実性」、「Complexity：複雑性」、「Ambiguity：曖昧性」の４つの単語の頭文字をとった造語

※2 ウェルビーイング：身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。

２．教育委員会について

（１）教育委員会の構成（令和５年度）

職名	氏名	最初の就任日 （任期満了日）
教育長	箸尾谷（ハシオダニ）　知也（トモヤ）	平成２５年４月１日 令和６年３月３１日
教育長職務代理者	福元（フクモト）　実（ミノル）	平成２４年４月１日 令和７年３月３１日
委員	大矢（オオヤ）　優子（ユウコ）	平成２０年３月８日 令和８年３月３１日
委員	坂井（サカイ）　知子（トモコ）	令和２年４月１日 令和６年３月３１日
委員	藤村（フジムラ）　裕爾（ユウジ）	令和２年１２月２４日 令和９年３月３１日

教育長の任期は３年間、教育委員の任期は４年間

（２）教育委員会の活動状況

①教育委員会議

令和５年度は定例会を１２回、臨時会を２回開催し、教育委員会規則の制定・改廃、教科書の採択等について審議しました。また、教育委員会の事務に関する予算への意見の申出、学校における問題行動への対応や各種学力調査・体力調査の結果に対する助言など教育に関する事案について議論しました。

②教育委員会による学校園の訪問等

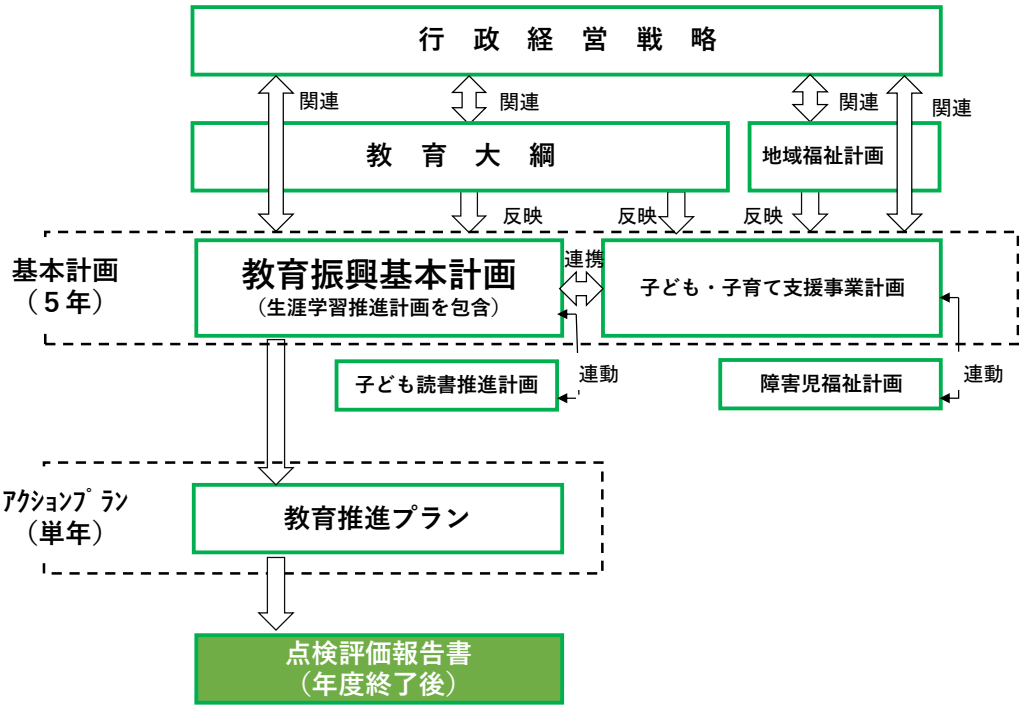
学校園の現状や取組を把握するため、教育長及び教育委員が小中学校を訪問し、学校管理職や担当教員と意見交換を行いました。また学校園の学校経営にかかるヒアリングを行い、学校経営改善に向けた助言を行いました。

③行事等への出席

教育委員会主催行事のみならず、学校や団体の行事等にも積極的に参加しました。

３．点検評価報告書の位置付け

摂津市行政経営戦略※の「教育」に関する分野の計画である教育振興基本計画のアクションプランとして教育推進プランを位置づけています。本報告書は、教育推進プランに基づき、教育委員会に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価を行います。



※摂津市行政経営戦略
「摂津市総合計画」と「摂津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を一本化し、市の分野の方向性・取組・目標を示した令和３年度から令和７年度までの５カ年計画

４．点検評価について

（１）点検評価の方法

点検評価にあたり、千里金蘭大学　教育学部教育学科学部長　島善信氏と大阪つくば開成高等学校校長　白井孝雄氏からご意見をいただき、報告書に反映しています。

施策及び事業の進捗は、基本目標ごとに設定した成果指標と事業ごとに設定した目標指標の達成状況で確認します。なお、事業（取組）は目標指標の達成状況及び取組により、下記の基準で評価します。

事業の評価方法

評価	基準
A	指標以上 ・指標を達成できたまたは上回った場合 ・指標達成と同等の成果を得られた場合
B	概ね指標通り ・指標を概ね達成できた場合 （複数ある指標のうち一部を達成できた場合等） ・指標に到達していないが、指標達成に向けて順調に（計画的に、年々改善されている等）取組が進められている。
C	指標に達しなかった ・指標を達成できなかった場合 ・課題があり、指標達成に向けて順調に取組が進められていない。

（２）施策一覧

（★は重点事業※含む施策）

教育理念	基本方針	基本目標	施策	重点	ページ
つながり　未来を拓く　せっつの教育	１．一人ひとりの「生きる力」を育みます ～学校教育・就学前教育の充実～	１ 豊かな心を育む教育	① 道徳教育の推進		9
			② 人権教育の推進		9-10
			③ 読書活動の推進		11
		２ 確かな学力を育む教育	④ 授業改善の推進	★	14-17
			⑤ 学習内容・学習習慣の定着		18-19
			⑥ 就学前教育・小中一貫教育の推進	★	20-22
		３ 健やかな体を育む教育	⑦ 運動意欲の向上・基本的生活習慣の定着		24-25
			⑧ 学校体育・部活動の推進	★	26-28
		４ 社会を生き抜く力を育む教育	⑨ 新たな教育の推進	★	30-36
		５ ともに学びに育つ教育	⑩ 支援教育の推進	★	38-39
			⑪ 相談体制の充実		40-41
			⑫ 生徒指導の充実	★	42-44
	２．人生 100 年時代の学びと活躍を推進します ～生涯学習の推進～	６ 学びを続ける機会づくり	⑬ 多様な学習機会の充実		46-48
		７ 学びを支える環境づくり	⑭ 学習成果の発表・活躍の場の充実		50
			⑮ 社会教育施設の活用		51-52
		８ 学びを活かす人づくり	⑯ 多様な主体による指導者の育成		54-55
	３．安全で安心な学びの場をつくります ～教育環境の整備～	９ 安全安心で快適な教育環境づくり	⑰ 教育施設の整備	★	58-62
			⑱ 感染症の予防・対策		63
			⑲ 学校給食の安全衛生管理	★	64-65
		１０ 地域全体で教育に取り組む体制づくり	⑳ 学校・家庭・地域の連携強化		67-68
			㉑ 子どもの安全見守り活動の充実	★	69-71

※重点事業（施策推進にあたり、令和５年度に重点的に取り組んだ事業【新規事業や拡充事業等】）

（３）点検評価報告書の見方

基本目標２　確かな学力を育む教育

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 目標値
1	全国学力・学習状況調査の平均正答率の対全国比（全国を１とした場合）	(小 6)0.99 (中 3)0.97	(小 6) 1.0 (中 3) 0.94	(小 6) 1.0 (中 3) 1.0
2	「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と肯定的回答をした児童生徒の割合[◆]（小 6・中 3 平均）	73.0%	75.8%	73.5%

[◆] 全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

摂津市教育振興基本計画に掲げる指標を記載しています。
「R5 実績値」には、指標に対する令和 5 年度の実績値を記載しています。

施策及び事業（取組）

施策		内容	事業（取組）
④	授業改善の推進	学力・学習状況調査の分析をもとに、知識・技能と思考力・判断力・表現力を育むため、授業改善を中心とする学力向上の取組を行います。また、各校の課題に応じた研究活動を支援し、その成果を全校に普及します。	・学力向上推進事業【重点】 ・小中学校教育用コンピューター事業 ・学校マネジメント支援事業 ・研修事業 ・学校教育相談員配置事業
⑤	学習内容・学習習慣の定着	授業中の児童生徒の学習内容の理解を促進するための支援人材を学校に配置するとともに、学習習慣の定着を図るため、地域や家庭の事情等により、学校以外で学ぶ機会が少ない児童生徒に学習支援を行います。	・学校マネジメント支援事業 ・学力向上推進事業
⑥	就学前教育・小中一貫教育の推進	子どもの学習意欲や態度の基礎となる好奇心や探求心を養うなど、生涯にわたる人間形成の基礎を培うために重要な役割を担う就学前教育の充実と、小学校生活への円滑な接続を図ります。 義務教育終了時点で、社会において自立して生きる力を育むために、一貫した	・就学前教育・保育推進事業【重点】 ・キャリア教育推進事業

摂津市教育振興基本計画に掲げる施策と内容、施策に関連する事業（取組）を記載しています。

事業（取組）ごとに令和５年度の取組実績、今後の取組等を記載しています。
新規事業や拡充事業等は事業名の後ろに【重点事業】と標記しています。

④授業改善の推進

事業（取組）名	学力向上推進事業【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	23,527 千円（6,235 千円）
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る予算）	22,770 千円（5,668 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
①意識調査※1（3 月実施）で「授業に主体的に取り組んでいる」と回答した児童生徒の割合	49.3%	47.3%	B
②学年毎の同一集団で摂津学力定着度調査※2 及び府中学生チャレンジテスト結果が前年度以上の学年の割合	(小) 60%※3 (中) 60%※4	(小) 52% (中) 40%	
③全国学力・学習状況調査における無回答率の平均値の対全国比	(小) 0.92 (中) 1.12	(小) 0.96 (中) 1.27	

取組実績	・全国学力・学習状況調査及び摂津市学力定着度調査、中学校チャレンジテスト等の結果分析に基づき、児童生徒の実態に合った授業改善を推進するために、校内研修や学校間の相互授業参観などの取組を支援した。[写真 1・2] ・全国 向上 [illegible] ・中学校チャレンジテストでは、3 年生において、昨年と比較すると理科を除いたすべての教科で上回る結果となった。[グラフ 2]
今後の取組	・引き続き、各校の実態に応じた校内研究を推進し、学力の向上をはかる。 ・相互授業参観や OJT による日常的な研修の実施など、組織的に教員の授業力向上に取り組む。 ・家庭学習の内容や方法を見直すとともに、目標や目的を児童生徒、保護者と共有し、授業と家庭学習の連動した学びを推進する。

教育推進プランで設定した指標に対する実績値及び取組評価を記載しています。

基本目標１　豊かな心を育む教育

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 目標値
1	「自分にはよいところがあると思う」と肯定的を回答した児童生徒の割合【◆】（小６・中３平均）	75.0%	75.5%	77.7%
2	「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答をした児童生徒の割合【◆】（小６・中３平均）	72.8%	94.7%	72.9%

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

施策及び事業（取組）

施策		内容	事業（取組）
①	**道徳教育の推進**	答えが一つではない課題に児童生徒が道徳的に向き合い、共感性やコミュニケーション力、規範意識や人権意識など社会の一員として自立するためとなる基盤の力を育みます。	・道徳教育の充実
②	**人権教育の推進**	女性、子ども、高齢者、障害者、同和問題、在日外国人等にかかる人権問題に対して、児童生徒の発達段階に応じた学習を進め、身近な差別や偏見に気づく人権感覚の醸成を図ります。また、教職員の人権意識と指導力の向上を図ります。	・人権教育推進事業 ・国際理解教育推進事業 ・日本語指導教育事業
③	**読書活動の推進**	読書活動を推進し、児童生徒の言語能力を高めるとともに、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きていく力を身に付けるよう支援を行います。	・小中学校管理運営事業 ・学校読書活動推進事業

基本目標１　豊かな心を育む教育

①道徳教育の推進

事業（取組）名	道徳教育の充実	予算額（取組内容に係る予算）	―
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算）	―

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。」と肯定的回答をした児童生徒の割合【◆】（小６・中３ 平均）	小６　85.0% 中３　85.0%	小６ 77.0% 中３ 80.8%	B

取組実績	・小中学校の道徳教育推進教師※を対象に「特別の教科道徳」の実践的な授業研究のための研修会を実施した。 ・研修後のアンケート「研修で得たことを今後の職務に生かすことができると思うか」に対して 93%の肯定的な回答を得ることができた。
今後の取組	・指導力向上のために、引き続き道徳教育推進教師を対象に道徳の授業づくりについての研修を実施する。

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

※道徳教育推進教師：指導計画の作成、教材の整備・充実など道徳教育の推進を主に担当する教師。

②人権教育の推進

事業（取組）名	人権教育推進事業	予算額（取組内容に係る予算）	240 千円（60 千円）
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算）	179 千円（0 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
教職員アンケート「あなたは、日々の教育活動の中で、学校の人権教育推進計画に示されている自校の課題と目標、課題解決に向けた具体的な取組を意識していますか。」に「そう思う（強肯定）【▼】」と回答した割合	30.0%	31.1%	A

取組実績	・教職員を対象に日本語指導に関する研修会を実施した。 ・管理職及びミドルリーダーを対象に子どもの権利条約に関する研修会を実施した。
今後の取組	・教職員の人権意識及び指導力向上のため、引き続き人権教育に関する教職員研修会及び人権教育担当者会を実施する。

【▼】本質問に対する回答は「そう思う」「やや思う」「あまり思わない」「思わない」の４通りの回答が可能な質問です。

基本目標１　豊かな心を育む教育

事業（取組）名	国際理解教育推進事業	予算額（取組内容に係る予算）	1,880 千円（1,880 千円）
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算）	1,785 千円（1,785 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
①国際理解教育社会人講師派遣時間数	510 時間以上	410 時間	B
②教職員アンケート「あなたの学校では、日本以外の国の言語や文化について学ぶ機会を設け、児童生徒が多様性について学ぶ機会を設けることができていると思いますか。」に「そう思う（強肯定）【▼】」と回答した割合	35.0%	26.1%	

取組実績	・小中学校に国際理解教育社会人講師★を 10 名派遣するとともに、新たに NPO 法人と連携し多文化共生及び国際理解教育に関する授業を実施した。
今後の取組	・海外から渡日する児童生徒の増加が見込まれることから、多文化共生及び国際理解教育のさらなる推進のため、引き続き国際理解教育社会人講師を派遣する。

事業（取組）名	日本語指導教育事業	予算額（取組内容に係る予算）	9,853 千円（9,328 千円）
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算）	5,963 千円（5,963 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
教職員アンケート「あなたの学校では、日本語指導を実施するにあたって組織的な体制が構築されていると思いますか。」に「そう思う（強肯定）【▼】」と回答した割合	30.0%	28.7%	B

取組実績	・日本語指導講師★を 17 名派遣し、外国語を母語とする児童生徒の日本語及び母語指導等の学習支援を行った。 ・日本語指導講師派遣時間外における支援や、保護者の相談対応等にも活用できる AI 翻訳機を全小中学校に配備し、支援が必要な児童生徒とのコミュニケーションツールとして活用した。
今後の取組	・引き続き日本語指導講師を派遣し、外国語を母語とする児童生徒の学習保障を支援する。 ・日本語指導教育に関する教職員研修を行い、各校の日本語指導が組織的な体制になるよう支援する。

★の説明は 72 頁に記載しています。

【▼】本質問に対する回答は「そう思う」「やや思う」「あまり思わない」「思わない」の４通りの回答が可能な質問です。

③読書活動の推進

事業（取組）名	小中学校管理運営事業	予算額（取組内容に係る予算）	119,089 千円（8,000 千円）
担当課	教育政策課	決算額（取組内容に係る決算）	114,338 千円（7,991 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
児童生徒アンケートにおいて「学校図書館に読みたい本がある」と回答した割合	80.0%	76.6%	B

取組実績	・全小中学校で約 5,000 冊の図書を新規購入し、図書整備を行った。
今後の取組	・引き続き新たな図書の購入、状態が劣化した図書の廃棄や更新等を行い、学校図書館の充実を図る。

事業（取組）名	学校読書活動推進事業	予算額（取組内容に係る予算）	18,969 千円（17,447 千円）
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算）	16,412 千円（14,873 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
「学校の授業時間以外に、一日あたり 10 分以上読書している」と回答した児童の割合【◆】	55.0%	47.9%	B

取組実績	・読書活動推進支援員★を全小学校に配置し、学校図書館の蔵書整理、図書啓発のためのポスター等の制作や市立図書館との相互利用に取り組んだ。 ・複数校の学校図書館において月に 1 回、市民図書館の本の貸し出しサービスを実施した。 ・中学校の朝読書や調べ学習において積極的に学校図書館を利用する等、生徒が本に触れる機会づくりを行った。
今後の取組	・読書活動推進支援員等による取組を通じて、子どもの読書意欲を高め、誰もが利用しやすい学校図書館づくりを推進する。 ・電子図書館の認知度が低いため、効果的な活用方法について、担当課や読書活動推進支援員と連携して検討する。

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

★の説明は 72 頁に記載しています。

基本目標２　確かな学力を育む教育

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 目標値
1	全国学力・学習状況調査の平均正答率の対全国比（全国を１とした場合）	(小 6)0.99 (中 3)0.97	(小 6) 0.99 (中 3) 0.95	(小 6) 1.0 (中 3) 1.0
2	「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と肯定的回答をした児童生徒の割合【◆】（小 6・中 3 平均）	73.0%	75.8%	73.5%

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

施策及び事業（取組）

施策		内容	事業（取組）
④	授業改善の推進	学力・学習状況調査の分析をもとに、知識・技能と思考力・判断力・表現力を育むため、授業改善を中心とする学力向上の取組を行います。また、各校の課題に応じた研究活動を支援し、その成果を全校に普及します。	・学力向上推進事業【重点】 ・小中学校教育用コンピューター事業 ・学校マネジメント支援事業 ・研修事業 ・学校教育相談員配置事業
⑤	学習内容・学習習慣の定着	授業中の児童生徒の学習内容の理解を促進するための支援人材を学校に配置するとともに、学習習慣の定着を図るため、地域や家庭の事情等により、学校以外で学ぶ機会が少ない児童生徒に学習支援を行います。	・学校マネジメント支援事業（再掲） ・学力向上推進事業（再掲）
⑥	就学前教育・小中一貫教育の推進	子どもの学習意欲や態度の基礎となる好奇心や探求心を養うなど、生涯にわたる人間形成の基礎を培うために重要な役割を担う就学前教育の充実と、小学校生活への円滑な接続を図ります。 義務教育終了時点で、社会において自立して生きる力を育むために、一貫した目標のもとで 9 年間の義務教育を計画的に行います。	・就学前教育・保育推進事業【重点】 ・キャリア教育推進事業

基本目標２　確かな学力を育む教育

④授業改善の推進

事業（取組）名	学力向上推進事業【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	23,527 千円（6,235 千円）
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算）	22,770 千円（5,668 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
①意識調査※1（3 月実施）で「授業に主体的に取り組んでいる」と回答した児童生徒の割合	49.3%	47.3%	B
②学年毎の同一集団で摂津市学力定着度調査※2及び府中学生チャレンジテスト結果が前年度以上の学年の割合	（小）60%※3 （中）60%※4	（小）52% （中）40%	
③全国学力・学習状況調査における無回答率の平均値の対全国比	（小）0.92 （中）1.12	（小）0.96 （中）1.27	

取組実績	・全国学力・学習状況調査及び摂津市学力定着度調査、中学校チャレンジテスト等の結果分析に基づき、児童生徒の実態に合った授業改善を推進するために、校内研修や学校間の相互授業参観などの取組を支援した。［写真 1・2］ ・全国学力・学習状況調査において、小学校国語の対全国比は、昨年度より向上し、初めて全国平均と並んだ。［グラフ 1］ ・府中学校チャレンジテストでは、3 年生において、昨年と比較すると理科を除いたすべての教科で上回る結果となった。［グラフ 2］
今後の取組	・引き続き、各校の実態に応じた校内研修を推進し、学力の向上を図る。 ・相互授業参観や OJT による日常的な研修の実施など、組織的に教員の授業力向上に取り組む。 ・家庭学習の内容や方法を見直すとともに、目標や目的を児童生徒、保護者と共有し、授業と家庭学習が連動した学びを推進する。

※1 意識調査：市教育委員会が児童生徒の学習意欲等を把握し、「魅力ある学校づくり」を進めていくために実施するアンケート調査

※2 摂津市学力定着度調査：市教育委員会及び各校が児童生徒の学習の定着状況を経年変化で把握し、指導に活かすために実施する学力調査（対象：小学 1 年生から 6 年生まで）

※3 指標②小学校実績値・目標値の考え方：
小学 2 年生から 6 年生までの 5 学年×10 校×2 教科（国語、算数）のうち、前年度以上の学年の割合

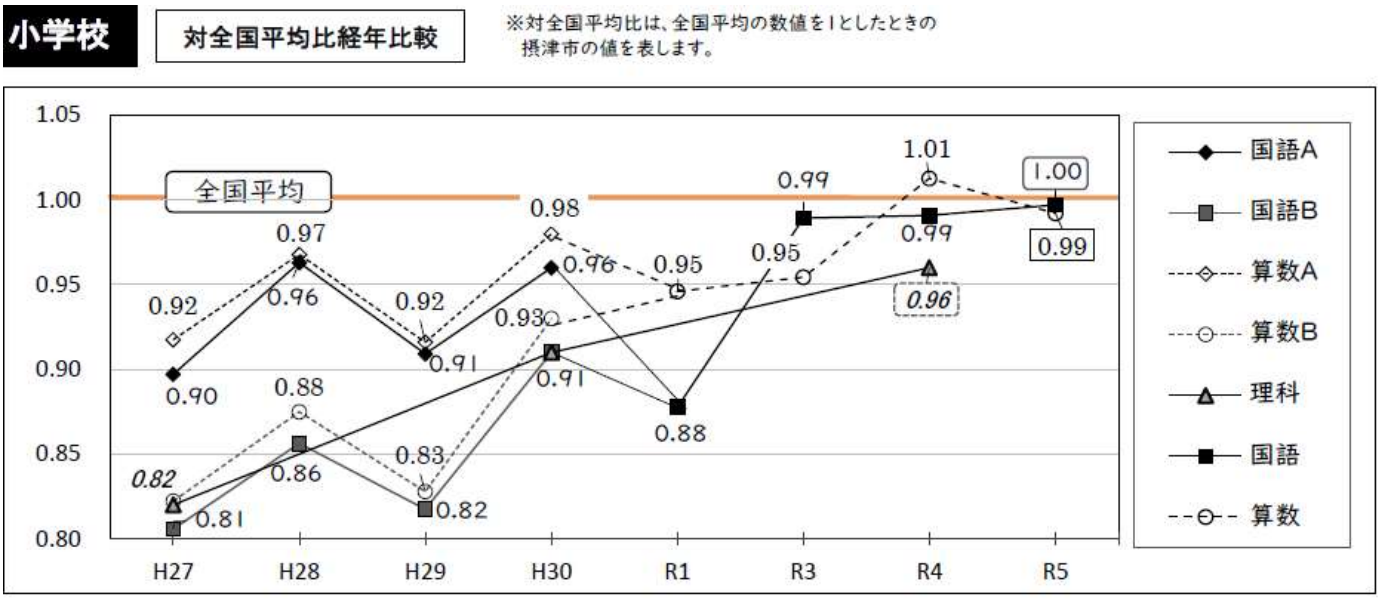
※4 指標②中学校実績値・目標値の考え方：
中学 2 年生から 3 年生までの 2 学年×5 校×3 教科（国語、数学、英語）のうち、前年度以上の学年の割合

基本目標２　確かな学力を育む教育

［写真 1］（校内研修の様子）

［写真２］（相互参観）

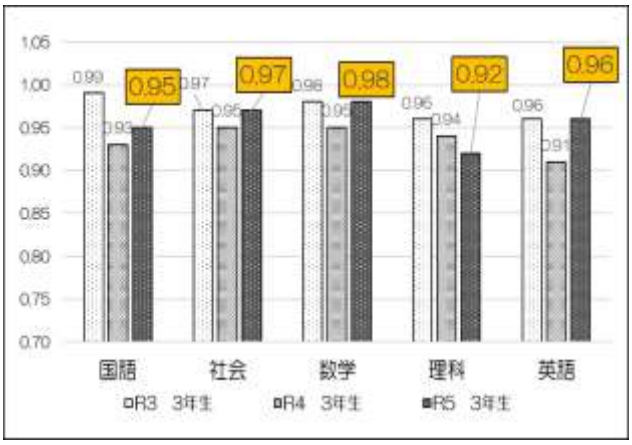
［グラフ 1］　全国学力・学習状況調査



※令和元年度より「国語 A」「国語 B」の 2 種類の調査が「国語」に統一、「算数 A」「算数 B」の 2 種類の調査が「算数」に統一されました。

［グラフ２］中学校チャレンジテスト

対府平均比　異集団経年比較



教科別平均点

	国語	社会	数学	理科	英語
本市平均点	59.1	53.1	50.9	44.0	52.1
大阪府平均点	62.1	54.7	52.2	47.6	54.2
対府平均比	0.95	0.97	0.98	0.92	0.96

※対全国比、対府平均比：
全国、大阪府平均を 1 とした時の本市の平均値

基本目標２　確かな学力を育む教育

事業（取組）名	小中学校教育用コンピューター事業	予算額（取組内容に係る予算）	76,411 千円（76,411 千円）
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算）	74,340 千円（74,340 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
教職員アンケートで「児童生徒に ICT 機器を活用させ、資料作成（レポート等）の指導ができる」と回答した教職員の割合	90.0%	68.8%	C

取組実績	・ICT 機器の効果的な活用の先進事例を参考に、情報活用能力の向上に向けた授業づくりを推進した。 ・各校に月 2 回配置している ICT 支援員★を計画的かつ効果的に活用できるよう、「授業事前準備」「授業サポート」「環境整備」「校内研修」など ICT 支援員による支援メニューを明確にした。
今後の取組	・ICT 支援員の活用及び各校の ICT 担当教員を中心に、授業における ICT 機器の効果的な活用方法について研究を推進する。

事業（取組）名	学校マネジメント支援事業	予算額（取組内容に係る予算）	198,576 千円（7,200 千円）
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算）	167,874 千円（7,159 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
意識調査（3 月実施）で「授業がよくわかる」と回答した児童生徒の割合	52.0%	48.9%	B

取組実績	・味舌小学校、摂津小学校、別府小学校、第二中学校、第三中学校の 5 校を研究重点校と位置付け、研究計画の策定から研究授業・研究協議の実施を支援した。また、重点校以外の学校へ取組の成果を発信した。 ・全小中学校で研究発表会を実施する際の指導・助言、講師派遣等の支援を行った。
今後の取組	・引き続き、各校の実態に合わせた特色ある教育活動の推進に取り組む。 ・先進校視察など、他の市町村から積極的に学ぶ機会を設定する。 ・主体的・協働的に授業改善に取り組むことができるように、定期的に授業参観やヒアリングを設定し、指導助言を行う。

★の説明は 72 頁に記載しています。

基本目標２　確かな学力を育む教育

事業（取組）名	研修事業	予算額（取組内容に係る予算）	849 千円（849 千円）
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算）	676 千円(676 千円)

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
教職員研修参加者へのアンケート「研修の内容を学校の取組に生かす」への肯定的回答の割合	100%	98.3%	A

取組実績	・小中学校全体研修会「子どもの適切な支援につなげるケース会議」を実施した。 ・集団作り、授業づくり及び保幼こ小連携をテーマにしたサマーセミナーを実施した。 ・特別支援教育、会議のアジェンダ、接遇をテーマにしたウィンターセミナーを実施した。
今後の取組	・引き続き、教職員のニーズや学校現場の課題に応じた研修を実施する。

事業（取組）名	学校教育相談員配置事業	予算額（取組内容に係る予算）	2,747 千円（2,747 千円）
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算）	2,562 千円(2,562 千円)

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
初任者研修における自己評価※の合計ポイントの上昇幅の平均	25.0 ポイント	19.1 ポイント	B

取組実績	・教育指導嘱託員★を配置し、初任者の教職員を中心に授業づくりや学級経営に関する指導助言、業務を進めるうえでの様々な悩み等の相談を行った。
今後の取組	・引き続き、学校教育相談員を派遣し、経験の浅い教職員の資質向上を図るための指導助言を行う。

※初任者研修における自己評価：120 ポイントを満点として初任者研修後に教職員が自己評価を行う。

（年間 3 回の自己評価のうち第 1 回と第 3 回の合計ポイントを比較する。）

★の説明は 72 頁に記載しています。

基本目標２　確かな学力を育む教育

⑤学習内容・学習習慣の定着

事業（取組）名	学校マネジメント支援事業（再掲）	予算額（取組内容に係る予算）	198,576 千円（11,250 千円）
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算）	167,874 千円（11,237 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」と肯定的回答をした児童生徒の割合【◆】	73.0%	69.9%	B

取組実績	・全小中学校に学習サポーター★を計 89 名派遣し、児童生徒の一人ひとりの課題に応じて学習活動を支援した。
今後の取組	・個別最適な学習の充実のため、引き続き学習サポーターを全小中学校に派遣する。

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

★の説明は 72 頁に記載しています。

基本目標２　確かな学力を育む教育

事業（取組）名	学力向上推進事業（再掲）	予算額（取組内容に係る予算）	23,527 千円（17,026 千円）
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算）	22,770 千円（17,024 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
①塾内理解度確認テスト※1 伸長率（入塾時の 5 月現状値を 1.0 とする）	全学年 1.05 以上向上	小 6　1.06 中 1　1.02 中 2　0.92 中 3　1.04	B
②平日及び休日に 1 時間以上学習する児童生徒の割合の増加（5 月現状値を 1.0 とする）	平日・休日ともに 1.20 以上	平日　0.85 休日　0.94	

取組実績	・市内6会場で年間60回「摂津SUNSUN塾」※2を開催し、小中学生（小6、中1、中2、中3対象）248名（登録者数）が受講した。 ・映像授業サービス「Try IT」※3 を全中学生に提供し、自学が困難な児童生徒の家庭学習を支援した。
今後の取組	・「摂津SUNSUN塾」の受講科目をこれまでの国語・算数（数学）に英語を増やして年間90回開催し、受講生の個別最適な学びの充実及び家庭学習の定着に向けて支援する。 ・学校以外で学ぶ機会の提供や学習習慣の確立のため、「摂津 SUNSUN 塾」の受講者増加に向けて広く発信するとともに学校と連携した周知方法を検討する。

※1 塾内理解度確認テスト：委託事業者が作成する各教科の理解度を確認するテスト。
※2 摂津 SUNSUN 塾：摂津市が民間委託する無料塾。保護者はテキスト代、テスト代のみ負担する。
※3 Try It:トライが提供する中学生・高校生向けの無料映像学習サービス。教科・単元ごとに 1 個 15 分の授業を選んで視聴することができるため、空き時間に苦手を解決することができる。

基本目標２　確かな学力を育む教育

⑥就学前教育・小中一貫教育の推進

事業（取組）名	就学前教育・保育推進事業 【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	270 千円（180 千円）
担当課	保育教育課	決算額（取組内容に係る決算）	210 千円（150 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
①研修アンケートにおける『今後の職務に活かすことができる』と回答した割合	95.0%以上	99.6%	A
②幼小連携事業アンケートにおける肯定的評価の割合	95.0%以上	100%	

取組実績	・「就学前教育・保育実践の手引き」改訂記念講演会や、手引き内の『運動能力向上』に関するページを使用した運動遊び研修会、防災に関するテーマ等で、保幼こ小合同研修会※1 を 6 回開催した。［写真 1］ ・就学直前の園児が円滑に小学校生活へ移行できるよう、5 歳児対象の学校訪問や授業体験、園児児童交流会、就学前施設職員と小学校教員等による相互参観や意見交換会等を実施した。［写真 2］
今後の取組	・令和 5 年度は、勤務 1 年目から 5 年目未満の職員を対象とした日々の授業や保育に役立つ実技等の合同研修会を新たに実施したが、令和 6 年度は更に対象を広げ、回数を増やし実施する。 ・保幼こ小接続期の授業・保育に関する内容に重点を置いた研修会を企画し開催する。

※1 保幼こ小：公私立の保育園及び幼稚園・認定こども園・小学校の総称の略。

［写真 1］
（防災教育研修会の様子）

基本目標２　確かな学力を育む教育

令和５年度研修内容

就学前教育・保育実践の手引き改訂記念講演会、幼児期から低学年の運動あそび、日々の授業や保育に役立つ実技、学校園での防災知識、愛着障害及び発達障害事例検討会等

【研修アンケートの主な意見】

≪小学校≫

・保幼こ小の研修で、園で行っている気持ちを切り替える時などに使っている手遊び等、小学校でも使える簡単な遊びを知る機会があればいいなと思った。

・合同研修の機会や内容など、年々広がりを感じ、興味・関心を寄せる小学校教員が増えていると自校でも感じている。少しでも教職員が参加しやすい環境づくりに感謝している。

≪園≫

・『就学前教育・保育実践の手引き』がとても分かりやすく、職員全員で研修後、方向性を１つにするための話し合いができた。

・合同研修は、小学校の先生の話を聞く貴重な機会となり良かった。

・研修がきめ細やかに実施されることは、今後も継続していただきたい。

［写真 2］

（授業体験や園児児童の交流・学校探検の様子）

就学に向けた教職員及び園児児童の主な取組内容

保幼こ小の相互参観、５歳児及び１年生担任意見交換会、学校探検、園児児童交流会、授業体験等

【保幼こ小連携事業アンケートの主な意見】≪小学校≫

・交流自体は 1 年生にとっても、年上として自覚をもつことができとても良かった。交流の内容については、５歳児にとってどんな内容が良いか取りまとめていただけると嬉しい。

・園参観に参加したことで、保幼こ小の繋がりの大切さをより強く感じることができた。できるだけたくさんの教職員を参加させたいと思っている。

≪園≫

・学校探検の園までの帰り道や園に戻ってからも、ずっと５歳児園児は小学校の話で盛り上がっていた。今後も全ての取組を引き続き実施してほしい。

・子どもたちは、環境が変わったり、学校での活動がどのようにされているのかがわからなかったりすることへの不安が大きかったが、今回、学校の中や教室の様子、授業がどのような雰囲気なのかを見せていただいたりすることで、不安が大きく軽減されたと感じた。

・園児だけでなく保護者も、小学校へ行く不安を少なくすることができた。

・１年担任と話す機会がもて、小学校に上がるにあたって必要なことが具体的にわかって良かった。

基本目標２　確かな学力を育む教育

事業（取組）名	キャリア教育推進事業	予算額（取組内容に係る予算）	2,009 千円（80 千円）
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算）	1,869 千円（1,869 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
「自分にはよいところがある」と肯定的回答をした児童生徒の割合【◆】	75.0%	75.5%	A

取組実績	・義務教育９年間を見据えた「めざす子ども像」※1 の実現に向けて、中学校区で合同研修などの校種間連携の機会を設け、学習指導・生徒指導の充実を図った。 ・「就学前教育・保育実践の手引き」からポイントを抜粋したリーフレットを作成し、全小学校教員が就学前教育との繋がりを意識するよう支援した。
今後の取組	・新たに作成したキャリアパスポート※2 を活用した授業研究会や実践交流会を開催し、義務教育９年間を見据えた非認知能力の育成を支援する。 ・就学前教育との連携を踏まえた研修を実施する。

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

※1 めざす子ども像：学校が共通して取り組む方針を定めた「摂津の学校教育スタンダード」に基づき、各校が子どもたち、地域及び家庭等の状況を踏まえ、子どもたちの将来を見据えつけたい力や人間性等について示した目標。

※2　キャリアパスポート：児童生徒が、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できる学習成果物を綴じたもの。

基本目標３　健やかな体を育む教育

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 目標値
1	全国体力・運動能力、運動習慣等調査※の体力合計点の対全国比【全国を1とした場合】(小5・中2平均・男女別)	（男）0.98 （女）0.97	（男）0.97 （女）0.95	（男）1.0 （女）1.0
2	全国体力・運動能力、運動習慣等調査で「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きである」と回答をした児童生徒の割合（小5・中2平均・男女別）	(男)67.0% (女)49.0%	(男)64.9% (女)45.3%	（男）69.5% （女）51.2%

※全国体力・運動能力、運動習慣等調査：子どもたちの体力向上と生活習慣改善を図るための調査。
小学5年生と中学2年生を対象に運動能力に関わる実技調査8項目と運動調査等の質問紙調査を実施している。

施策及び事業（取組）

施策		内容	事業（取組）
⑦	**運動意欲の向上・基本的生活習慣の定着**	運動意欲、体力の向上には、子どもたちの運動機会の増加と生活習慣の改善、そして何より体を動かすことが楽しいと感じることが重要です。子どもたちの健康教育・体力づくりを進め、生涯にわたる心身の健康の保持増進の基礎を培う支援を行います。	・運動意欲の向上及び生活習慣の改善と食育の推進 ・小中学校給食事業
⑧	**学校体育・部活動の推進**	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の分析をもとに、体力向上に向けた授業改善や体育活動を支援します。また、中学校における生徒の心身の健全な成長や社会性、団結力を高める部活動や、生涯を通じて運動に親しむ資質や能力を身につける取組の支援を行います。	・学校部活動等助成事業【重点】 ・全国・運動能力、運動習慣等調査

基本目標３　健やかな体を育む教育

⑦運動意欲の向上・基本的生活習慣の定着

事業（取組）名	運動意欲の向上及び生活習慣の改善と食育の推進	予算額（取組内容に係る予算）	―
担当課	教育支援課・学校教育課	決算額（取組内容に係る決算）	―

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
全国体力・運動能力、運動習慣等調査で「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きである」と回答をした児童生徒の割合（小５・中２ 平均・男女別）	(男)67.0% (女)49.0%	(男)64.9% (女)45.3%	B

取組実績	・小中学校の体育担当教員を対象に、全国体力・運動能力、運動習慣等調査で実施するすべての種目について、適切な測定方法と効果的な指導方法の研修を実施した。 ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査や全国学力・学習状況調査により、児童生徒の運動習慣や生活習慣の実態把握や分析を行った。 ・食育の担当者会を実施し、地域の農産物を活用した具体的な授業実践について研修を行った。
今後の取組	・全国体力・運動能力、運動習慣等調査や全国学力・学習状況調査により、児童生徒の運動習慣や生活習慣の実態把握や分析を行い、授業改善や児童生徒の運動習慣及び生活習慣の改善に向けた取組を各校で実施する。 ・食育の担当者会を実施するとともに、地域の農家と関わる機会を設ける等、地域の食文化について理解する取組を実施する。

基本目標３　健やかな体を育む教育

事業（取組）名	小中学校給食事業	予算額（取組内容に係る予算）	513,675 千円（―）
担当課	教育政策課	決算額（取組内容に係る決算）	478,850 千円（―）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
保護者アンケート「『えいようだより』や『学校給食通信』の発信により、食への関心が高まったと思う。」と肯定的回答をした割合	70.0%	（小）　58.7% （中）　47.5%	C

取組実績	・えいようだより及び学校給食通信を定期的に発行し、児童生徒や保護者に給食に関する情報を提供した。 ・小中学校で減塩を共通テーマに、うま味を活かせるだしや、味のアクセントとなる酢を活用した給食を３回提供した。 ・摂津市産の玄米「WE 米」を２月と３月の小学校給食に使用し、保護者と児童へ周知した。
今後の取組	・児童生徒や保護者が日常生活において栄養バランスに配慮した食事を選択する力を育成できるよう、内容について随時見直しを行いながら、えいようだよりや学校給食通信の発行を定期的に実施する。 ・引き続き減塩を共通テーマに給食を提供することで、児童生徒へ適切な塩分量での食生活の意識付けを図る。

⑧学校体育・部活動の推進

事業（取組）名	学校部活動等助成事業 【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	6,927 千円（4,848 千円）
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算）	4,038 千円（4,008 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
学校の希望に対し部活動指導員★を派遣した部活動数の割合	100%	100%	A

取組実績	・5 中学校 7 種類の部活動に部活動指導員 6 名を派遣した。［図 1］ ・関係課と連携し、部活動地域移行に向けた視察を行った。 ・学校教育相談員★による部活動顧問への巡回指導を実施した。［写真 1］ ・生徒数の減少等に伴い、部活動の運営が困難な状況を踏まえ、拠点校方式による部活動を実施した。［写真 2］
今後の取組	・専門的な指導による生徒の技術力向上及び心身の健全な成長のため、引き続き部活動指導員を派遣する。 ・部活動地域移行に向けて関係課と連携し、学校の意向調査等を行う。 ・生徒の興味・関心に応じた部活動の設置・運営に困難な状況が生じていることもあり、在籍校に希望する部活動がない場合に参加を希望する生徒を一つの学校が受け入れる拠点校方式による部活動を、引き続き推進する。

★の説明は 72 頁に記載しています。

基本目標３　健やかな体を育む教育

［図 1］令和 5 年度　部活動指導員　実績報告書

部活動		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
バドミントン	指導	33	24	25	58.25	64.25	19	24	16	20	37	16	16	352.5
	軽減	33	20	14	28	32	10	12	8	10	18	8	16	209
吹奏楽	指導	24	14	15	35	28	20	12	12	5	4	7	12	188
	軽減	24	14	15	35	28	20	12	12	5	4	7	12	188
剣道	指導	13	0	4	3	0	23	7	0	0	0	0	7	57
	軽減	13	0	4	3	0	23	7	0	0	0	0	7	57
サッカー	指導	45	14	11	19	14	18	12	12	17	14	6	18	200
	軽減	45	14	11	19	14	18	12	12	17	14	6	18	200
水泳	指導	0	7	24.25	25.25	27	21	18	18	23	12	11.5	14.5	201.5
	軽減	0	7	17	12	22	6	12	18	18	12	8	14.5	146.5
ラグビー	指導	22	15	19	28.25	24	38	20	2	10	0	0	0	178.25
	軽減	15	12	8	10	8	25	14	4	0	0	0	0	96
サッカー	指導											16	26	42
	軽減											16	26	42

※指導：部活動指導員が指導した総時間
※軽減：部活動指導員が単独で指導した時間（部活動指導員の指導により顧問の部活動指導が軽減された時間）

部活動指導員の配置により 938.5 時間の部活動指導時間の軽減につながった。

［写真 1］(学校教育相談員が巡回指導をしている様子)

［写真 2］（拠点校方式による部活動の様子）

基本目標３　健やかな体を育む教育

事業（取組）名	全国運動能力、運動習慣等調査	予算額（取組内容に係る予算）	―
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算）	―

指標	R５目標値	R５実績値	取組評価
体力合計点の府平均以上校数（男女別）	男８校/15 校 女５校/15 校	男８校/15 校 女９校/15 校	A

取組実績	・全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果および分析を各小中学校の担当者に共有し、それを基に学校が課題解決のための「体力づくり推進計画（アクションプラン）」を作成することを支援した。
今後の取組	・担当者会等を通して、各校の体育の授業作りや児童生徒の体力向上のための取組の充実を図る。

基本目標４　社会を生き抜く力を育む教育

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 目標値
1	「5 年生（中 1、2 年生）までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」と肯定的回答をした児童生徒の割合【◆】（小 6・中 3 平均）	72.2%	77.1%	74.7%

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している」の質問項目削除に伴い、R5 点検・評価報告書から成果指標を変更しています。

施策及び事業（取組）

施策		内容	事業（取組）
⑨	新たな教育の推進	子どもたちが社会の変化に柔軟に対応し、課題を自ら解決する力、グローバル化や情報化社会に対応できる言語能力や情報活用力など、自らの可能性を発揮し、よりよい社会の創り手となるための教育を推進します。	・英語教育推進事業【重点】 ・小中学校教育用コンピューター事業（再掲）【重点】 ・キャリア教育推進事業（再掲）【重点】 ・防災教育の推進

⑨新たな教育の推進

事業（取組）名	英語教育推進事業 【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	26,591 千円（26,591 千円）
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算）	24,683 千円(24,683 千円)

指標	R５目標値	R５実績値	取組評価
①英語教育に係るアンケート（市内全児童対象）で「英語を話せるようになりたい」と肯定的回答をする児童の割合	90.0%	89.4%	B
②英語が CEFR A1※相当以上である生徒の割合（対象：市内中学校に在籍する３年生）	50.0%	40.9%	

取組実績	・外国人英語指導助手(ALT)★を派遣し、全小学校で「English Day※2」を開催した。また、中学生を対象に「English Week※3」を教育センターで実施した。 ・外国語活動支援員★を小学校に１名派遣し、授業づくりに対する助言や指導を行った。 ・小学校１校、中学校１校で留学生を招いた合同授業を実施した。
今後の取組	・引き続き外国人英語指導助手(ALT)や外国語活動支援員を各校に派遣し、外国語活動の授業を充実させるとともに、子どもたちに実践的な英語力を身に付けさせる。 ・小学校専科指導加配教員と中学校の英語コーディネーターが連携し、小中一貫した授業の充実を推進する。 ・学校での授業や子どもの自学自習の充実のために、学習ツールの活用について検証を行う。 ・留学生と児童生徒の交流を実施し、子どもたちが英語を学習する意欲を向上させる。

※1 CEFR：語学のコミュニケーション能力別のレベルを示す国際標準規格。CEFRA1 は実用英語検定３級と同程度のレベル。

※2 English Day：小学生を対象とした ALT によるゲーム等を通じた英語によるコミュニケーション力や昼休みの校内放送を活用したリスニング力向上のための取組

※3 English Week：中学生を対象とした ALT による英会話レッスン(英会話集中講座)

★の説明は 72 頁に記載しています。

基本目標４　社会を生き抜く力を育む教育

CEFR　A1 相当以上の英語力保持者(中学 3 年生)の割合(%)

	R2	R3	R4	R5
市平均	47.7	50.1	48.2	40.9
府平均	45.9	47.4	49.1	51.2
国平均	44.0	47.0	49.2	50.0

[写真 1]（「English Day」　の様子）

[写真 2]（「English Week」　の様子）

[写真 3]（留学生との合同授業の様子）

基本目標４　社会を生き抜く力を育む教育

事業（取組）名	小中学校教育用コンピューター事業（再掲）【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	76,411 千円（76,411 千円）
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算）	74,340 円（0 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
摂津市情報活用能力体系表※の改定	摂津市情報活用能力体系表の改定	一部改訂	B

取組実績	・改定した摂津市情報活用能力体系表をもとに令和 4 年度に導入したプログラミングロボットを活用し、「プログラミング的思考力」の向上を支援した。 ・全小中学校において令和 5 年度導入した情報モラル教育の支援教材を活用し、情報社会で適切に行動するための考え方や態度についての学習を支援した。［表 1・写真 1］
今後の取組	・電子黒板やタブレット端末などの ICT 機器を日常的かつ効果的に活用した授業づくりを進める。

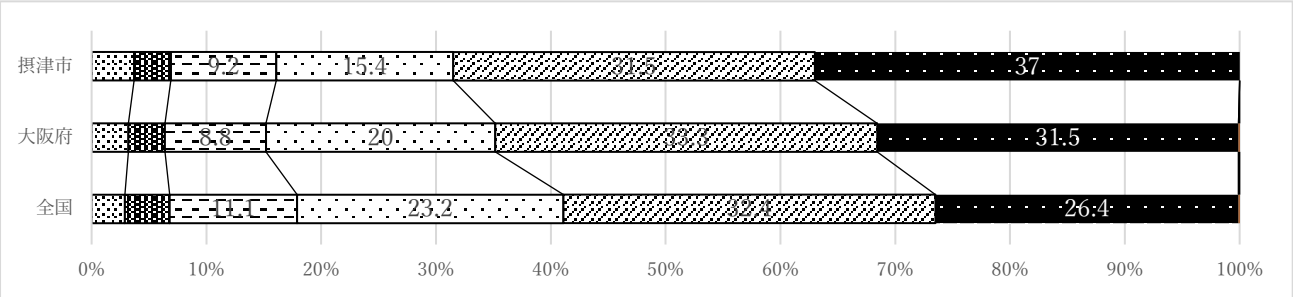
※　摂津市情報活用能力体系表:①ICT スキル②プログラミング的思考③情報モラルの 3 つの観点について、発達段階別に目標を示した一覧表

基本目標４　社会を生き抜く力を育む教育

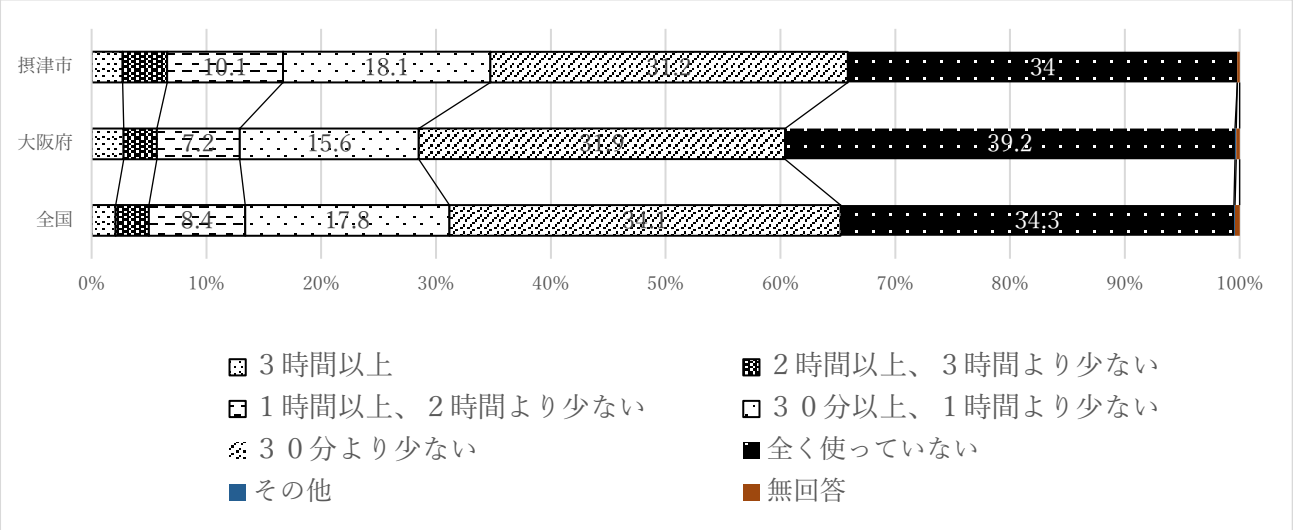
［グラフ 1］
【令和５年度　全国学力・学習状況調査質問紙調査における児童生徒質問紙の結果】

質問：「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどの ICT 機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）」

小学校



中学校



［写真 1］
（情報モラル教育の支援教材を活用している様子）

［表 1］
（令和５年度の情報モラル教育支援教材へのログイン回数）

小学校	中学校
3772	895

基本目標４　社会を生き抜く力を育む教育

事業（取組）名	キャリア教育推進事業（再掲）【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	2,009 千円（1,929 千円）
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算）	1,869 千円（1,869 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
「将来の夢や目標を持っている」と肯定的回答をした児童生徒の割合【◆】（小６・中３平均）	80.0%	73.7%	B

取組実績	・キャリア教育推進委員会※1 を４回開催し、有識者からの助言を基に、キャリアパスポート※2 の見直しを行い、市独自のキャリアパスポート、「キャリア・パスポート活用の手引き」を作成した。 ・各校の依頼により市内でキャリア教育に関する校内研修を指導主事が講師となり３校で計７回行った。［写真 1］ ・摂津市キャリア教育応援企業等登録制度を制定し、職場体験や、キャリア教育への参画、地域行事への参画、地域に対して企業開放等を行う企業など計 29 企業が登録された。登録企業と連携して、運動会のダンスの振り付けや、納豆キットを使った食育等の取組を行った。
今後の取組	・引き続きキャリア教育推進委員会を開催し、新たに作成したキャリアパスポートの実践等を交流することで、市内でのキャリア教育を推進できるよう支援する。 ・摂津市キャリア教育応援企業等登録制度で認定された企業等をマップ化することで、学校と企業をつなぎ、地域の人材が、子どもたちのロールモデルとなるようなキャリア教育を推進する。

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。

※1 キャリア教育推進委員会：義務教育９年間を見据えた「めざす子ども像」の実現に向け、小中学校のキャリア教育を推進する NPO 法人、学校、市教育委員会事務局の代表により構成された委員会

※2 キャリアパスポート：児童生徒が、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できる学習成果物を綴じたもの。

基本目標４　社会を生き抜く力を育む教育

【令和５年度　全国学力・学習状況調査質問紙調査における児童生徒質問紙の結果】

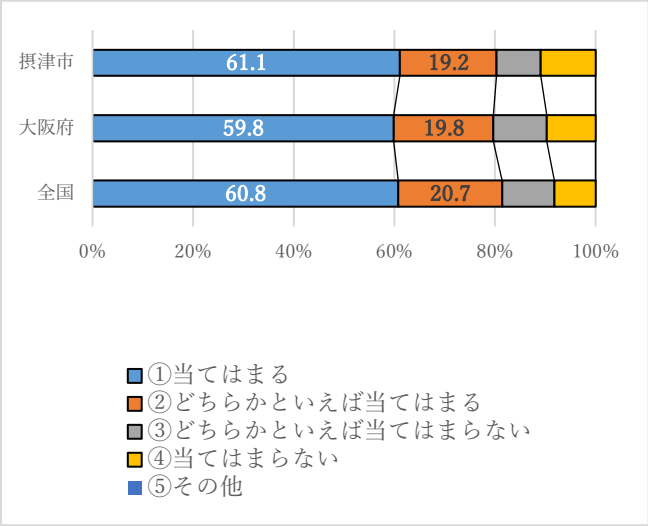
質問：「将来の夢や目標を持っていますか」

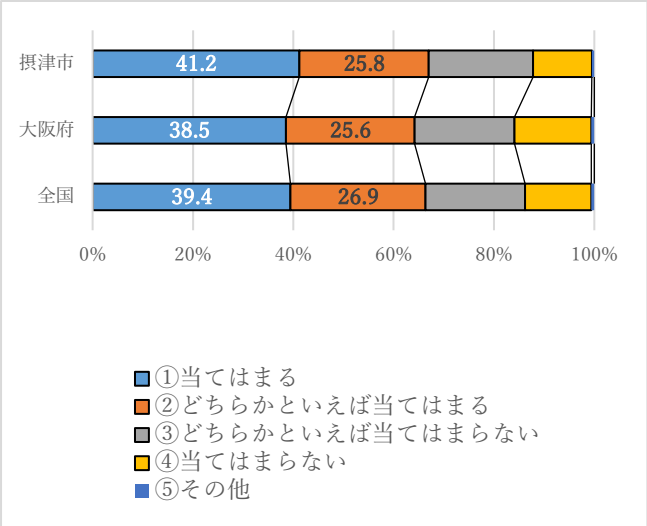
小学校

	①	②	③	④	⑤
摂津市	61.1	19.2	8.8	10.9	0.0
大阪府	59.8	19.8	10.6	9.7	0.0
全国	60.8	20.7	10.4	8.2	0.0

中学校

	①	②	③	④	⑤
摂津市	41.2	25.8	20.8	11.7	0.5
大阪府	38.5	25.6	19.9	15.3	0.6
全国	39.4	26.9	19.8	13.2	0.6





［写真 1］（指導主事によるキャリア教育に関する校内研修の様子）

基本目標４　社会を生き抜く力を育む教育

事業（取組）名	防災教育の推進	予算額（取組内容に係る予算）	―
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算）	―

指標	R５目標値	R５実績値	取組評価
教職員アンケート「あなたの学校では、児童生徒の防災意識を向上させるような防災教育の取組が行われていると思いますか」に肯定的回答をした教職員の割合	83.0%	81.9%	B

取組実績	・訓練の目的や主旨をふまえ、子どもが臨機応変に対応し、安全を確保できるような避難訓練の実施を支援した。
今後の取組	・児童生徒が災害を理解し、防災への関心を深めるため、各校における防災教育の推進を支援する。

基本目標５　ともに学び育つ教育

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 目標値
1	「学校に行くのは楽しいと思う」と肯定的回答をした児童生徒の割合【◆】(小 6・中 3 平均)	82.2%	81.7%	83.9%
2	「友達関係に満足している」と肯定的回答をした児童生徒の割合【◆】(小 6・中 3 平均)	92.9%	88.3%	93.6%

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。成果指標 2 は、「友達と協力するのは楽しいですか。」の質問項目削除に伴い、R5 点検・評価報告書から成果指標を変更しています。

施策及び事業（取組）

施策		内容	事業（取組）
⑩	**支援教育の推進**	障害の有無にかかわらず、全ての人が平等に生活し、活動する社会を目指すノーマライゼーションの理念のもと、支援学級担任や教職員の専門知識や指導技術の向上を図り、子どもたちが互いに認め合う教育を推進します。	・特別支援教育推進事業【重点】
⑪	**相談体制の充実**	児童生徒の多様性を専門家が多角的・多面的に分析し、見立てることで、学校における効果的な指導や支援の充実を図ります。また、子育て等の悩みや就学・進学相談など、個々のニーズに沿った支援を行います。	・就学児指導事業 ・教育相談事業 ・進路選択支援事業
⑫	**生徒指導の充実**	いじめ・問題行動や不登校等の状況は、その背景が複雑化しています。学校が保護者・地域とのつながりをさらに強め、関係機関とも連携して、未然防止・早期対応・再発防止に努め、全ての児童生徒の安全・安心を確保する取組を進められるよう支援します。	・生徒指導体制推進事業【重点】 ・教育相談事業（再掲） ・適応指導教室事業

⑩支援教育の推進

事業（取組）名	特別支援教育推進事業 【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	15,166 千円（15,166 千円）
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算）	11,599 千円（11,599 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
教職員アンケート「あなたの学校では支援を必要とする子どもの課題や支援の方法について学校全体で共有できているか」に肯定的回答をした教員の割合	100%	81.9%	B

取組実績	・特別支援教育推進指導員★・作業療法専門員★による巡回相談を実施し、児童生徒のアセスメントや支援の方法について、学校に指導助言を行った。 特別支援教育推進専門員　小学校 43 ケース・中学校 11 ケース 作業療法専門員　小学校 10 ケース・中学校 1 ケース ・支援教育の充実を図るため、味生小学校と鳥飼東小学校の 2 校を学校コンサルテーション実施校※1 として位置づけ、教室環境の整備や児童生徒一人ひとりの障害の状況に応じた具体的な支援について、専門家による指導助言を 8 回実施した。［写真 1］ ・教職員の専門性向上のため、コアティーチャー※2 を対象にトレーニングセミナーを実施した。［写真 2］ ・補聴援助システム(ロジャー)を必要とする児童生徒に対して、計 4 台の貸与を行った。［写真 3］ ・指標の実績値が目標値に及ばなかったが、各校の支援学級の教室環境の整備や、児童生徒一人ひとりの障害の状況に応じた教育課程の編成状況などがこれまでよりも大きく改善されたために取組評価を B とした。
今後の取組	・子どもたち一人ひとりのニーズに応じた支援教育を推進するため、引き続き特別支援教育推進指導員や作業療法専門員の巡回相談を行い、教職員の指導力の向上を図る。 ・医療的ケア児の安全と教育の機会の確保のために、小中学校看護嘱託員※3 の配置等に取り組む。 ・中学校区全体で支援教育が推進できるように、研修等の工夫を行う。

※1　学校コンサルテーション実施校：専門家の指導のもと、学校全体で支援教育への取組を推進している先進校

※2　コアティーチャー：教育委員会が、各校の特別支援教育担当の中心である特別支援教育コーディネーターの中から選抜した、支援教育について特に深い見識を持った教員。

基本目標５　ともに学び育つ教育

※3　小中学校看護嘱託員：日常的にたんの吸引や経管栄養等の「医療的ケア」が必要な児童生徒に対して「医療的ケア」を実施する看護師。

★の説明は 72 頁に記載しています。

［写真 1］学校コンサルテーションの様子

①（学習環境の様子）

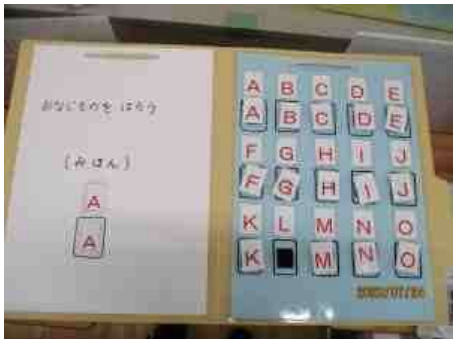
②（学習課題の一例）

③(授業の様子)

子どもたちが自立して学習できるように環境を整備し(①)、障害の状況に応じて適切な学習課題を作成する(②)。実際の授業の様子を特別支援教育推進専門員が観察し指導助言を行う(③)。

［写真 2］トレーニングセミナー

④（作成教材）



⑤（モデル児童への授業の様子）

⑥（効果検証の様子）

参加者がモデル児童の課題に応じた教材を作成し(④)、考案した教材を使って実際にモデル児童に授業を行う(⑤)。その効果を検証し改良を行なうことで、実践的な指導力を養う(⑥)。

［写真 3］補聴援助システム「ロジャー」

⑦（送信機）

⑧（受信機）

授業者の声をマイクで収音し(⑦)、送信機から補聴器に取り付けた受信機(⑧)に送信する。授業者の音声をクリアに聞き取ることができる。

⑪相談体制の充実

事業（取組）名	就学児指導事業	予算額（取組内容に係る予算）	414 千円（414 千円）
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算）	288 千円(288 千円)

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
支援学級入級または退級、及び支援学校転学を検討する児童生徒全員について教育支援会議を開催	対象児童生徒全員について実施	対象児童生徒全員について実施	A

取組実績	・教育関係者、福祉関係者及び必要に応じて医師等で構成する教育支援会議を開催し、就学先の選択や学校における支援の手立てについて助言を行い、保護者の意思決定や各校の支援学級の取組を支援した。 ・就学前児童の保護者を対象とした就学相談説明会を実施し、一人ひとりの子どもの教育的ニーズに合った学びの場を選択する機会を提供した。
今後の取組	・引き続き教育支援会議を開催し、児童生徒の適切な学びの場の決定や、支援の手立てについて協議を行う。 ・就学相談説明会等を通して、保護者に本市の特別支援教育の方針や取組等についての周知を行う。

事業（取組）名	教育相談事業	予算額（取組内容に係る予算）	29,608 千円（29,608 千円）
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算）	28,016 千円(28,016 千円)

指標	R5 目標値	R4 実績値	取組評価
保護者からの発達検査依頼に対する実施率	100%	100%	A

取組実績	・教育センターに毎日心理相談員(木曜日 5 名、木曜日以外 4 名)を配置し、児童生徒・保護者及び教職員からの教育や発達等に関する相談を実施した。（児童生徒 225 回、保護者 301 回、お悩み電話 47 回） ・保護者等から依頼があった発達検査を 178 回実施し、その結果を家庭や学校に共有し、適切な学びの場の選択や児童生徒の特性に応じた支援につなげた。
今後の取組	・引き続き教育センターに心理相談員を配置し、児童生徒や保護者、教員等の相談に対応し、個々の事案に応じた支援を実施する。 ・適切な学びの場の選択や、学校・家庭での子どもの特性に応じた支援の充実のために、保護者の依頼に応じて発達検査を実施する。

基本目標５　ともに学び育つ教育

事業（取組）名	進路選択支援事業	予算額（取組内容に係る予算）	100 千円（100 千円）
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算）	52 千円(52 千円)

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
進路説明会における奨学金制度等の周知校数（中学校）	5 校/5 校	5 校/5 校	A

取組実績	・進路選択相談員★を教育センターに 1 名配置し、児童生徒、保護者及び卒業生等からの奨学金等に関する相談 29 件に対応した。 ・中学校で実施される進路説明会において、各校ごとに 2 回の出張相談会を実施した。 ・進路選択の支援として、教育センターパンフレット及び奨学金制度案内を作成し、中学 2・3 年生に配付した。
今後の取組	・引き続き、進路選択相談員による進路選択支援を行うとともに、必要な情報を保護者や生徒に周知する。

★の説明は 72 頁に記載しています。

⑫生徒指導の充実

事業（取組）名	生徒指導体制推進事業 【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	29,163 千円（29,163 千円）
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算）	24,070 千円（24,070 千円）

指標	R５目標値	R５実績値	取組評価
①教職員アンケート「あなたの学校では、問題行動やいじめ、児童虐待が発生した場合、学校全体で対応する体制が整っていると思いますか」に「そう思う[▼]（強肯定）」と回答した割合	70.0%	62.1%	B
②教職員アンケート「あなたの学校では、SC★、SSW★、SL 等、支援人材との連携を推進できていると思いますか」と回答した割合	55.0%	46.6%	

取組実績	・生徒指導体制推進チーム※1 を全小中学校に合計 19 回派遣するとともにスクールロイヤー（SL）※2 による法律相談を 41 回実施した。 ・各校の課題に応じて、専門家を講師に招聘した生徒指導事案に対する資質及び能力向上を図る教職員研修を実施した。 ・チーフスクールソーシャルワーカー（CSSW）を１名新たに配置し、教職員と連携した児童生徒及びその家庭の福祉的課題の解決に向けて支援した。
今後の取組	・暴力行為発生件数は小中学校ともに増加しており［グラフ 1］、その中でも衝動的に暴力行為に及んでしまう事案が増加している傾向があることから、引き続き適切な児童生徒理解のもと、対処療法的指導ではなく再発防止に向けた予防的指導・支援に取り組む。 ・いじめの認知件数は小中学校ともに微減となった。［グラフ 2］ 重篤化を防ぐためにも、早期発見早期対応の体制づくりを進め、初期段階での組織対応を適切かつ迅速に進めることに注力し取組を行う。 ・新規不登校者数が大きく減少し、不登校者数は小中学校ともに減少している。［グラフ 3］ 特に魅力ある学校づくりの取組や校内教育支援ルーム及び市内適応指導教室などの環境整備を進め、児童生徒が安心して過ごすことができる場所の確保に取り組む。 ・引き続き、小中学校において生徒指導体制推進チーム等専門家と連携したケース会議や研修会の実施を支援し、生徒指導事案への組織的対応力向上に取り組む。

[▼] 本質問に対する回答は「そう思う」「やや思う」「あまり思わない」「思わない」の４通りの回答が可能な質問です。

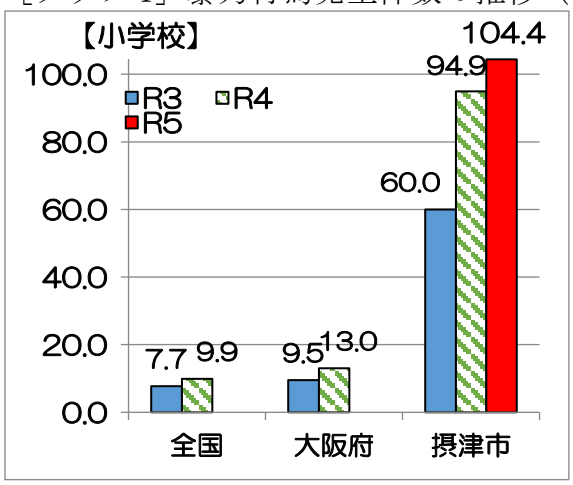
基本目標５　ともに学び育つ教育

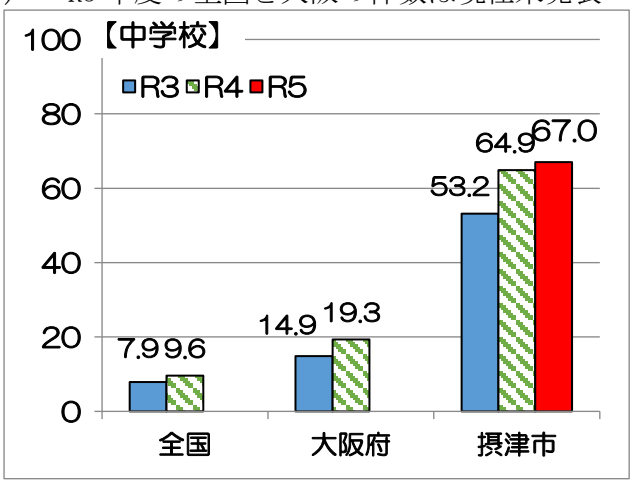
※1 生徒指導体制推進チーム：小中学校において重篤化及び長期化する恐れのある生徒指導事案に対して、知識や技能、経験を有する者（学識経験者等）で構成した緊急支援チーム

※2 スクールロイヤー：学校で発生する様々な問題において、子どもの最善の利益を念頭に置き、法的観点から継続的に学校に助言を行う弁護士

★の説明は 72 頁に記載しています。

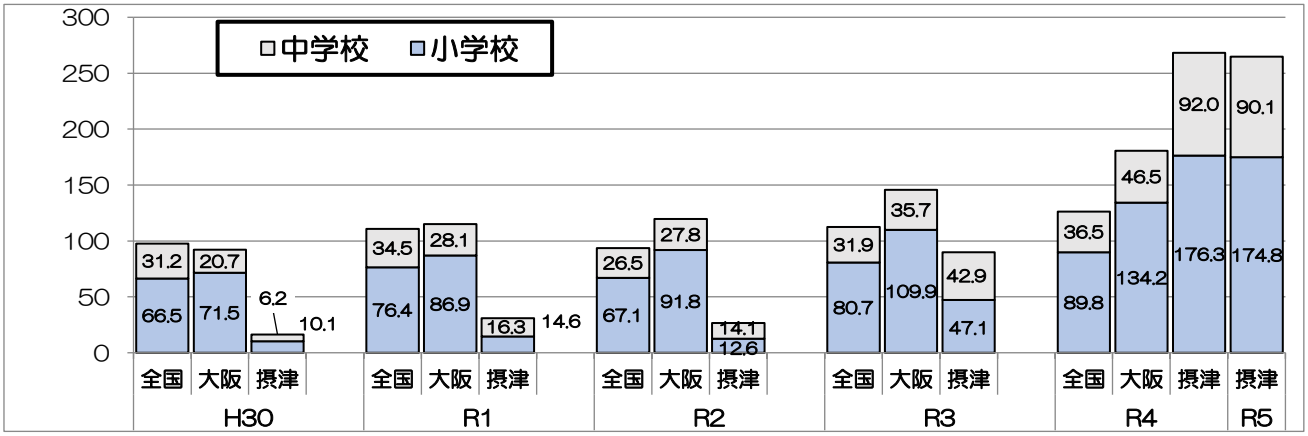
［グラフ 1］暴力行為発生件数の推移（千人率）　R5 年度の全国と大阪の件数は現在未発表





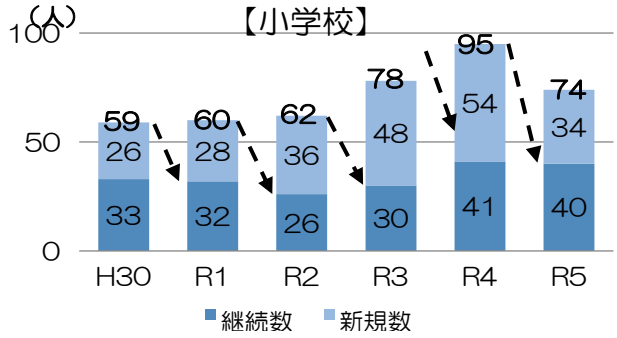
暴力行為件数：小学校では前年度比約 1.1 倍、中学校では前年度比約 1.03 倍となった。

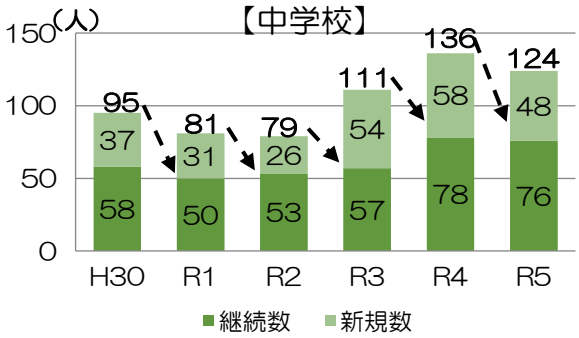
［グラフ 2］いじめ認知件数の推移（千人率）　R5 年度の全国と大阪の件数は現在未発表



いじめの認知件数：小学校では前年度比約 0.98 倍、中学校では前年度比約 0.99 倍となった。

［グラフ 3］不登校　新規・継続者数の推移





小中学校ともに不登校者数は減少している。上記のうち、90 日以上の欠席者数は小学校で 31 人、中学校で 71 人であった。また、全欠の児童生徒数は、小学校が 2 人、中学校が 5 人であった。

基本目標５　ともに学び育つ教育

事業（取組）名	教育相談事業（再掲）	予算額（取組内容に係る予算）	29,608 千円（29,608 千円）
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算）	28,016 千円(28,016 千円)

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
いじめ事案への SC の関与率	100%	100%	A

取組実績	・児童や保護者へのカウンセリング等を実施するため、全小学校に週 1 日(学校規模に応じ週 2 日)スクールカウンセラー(SC)★を配置した。 ・児童や保護者からの学校生活や子育てに関する相談対応を 1,045 回実施した。また、配置校の校内会議に 562 回参加し、いじめや不登校など計 5,255 ケースの対応について学校に助言した。
今後の取組	・引き続き全小学校にスクールカウンセラーを配置し、児童や保護者、教職員等のカウンセリングを実施するとともに、校内会議に参加し助言を行う。

事業（取組）名	適応指導教室事業	予算額（取組内容に係る予算）	9,798 千円（9,798 千円）
担当課	教育支援課	決算額（取組内容に係る決算）	9,039 千円(9,039 千円)

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
パル通室生の学校復帰の割合	60.0%	71.1%	A

取組実績	・適応指導教室パル(摂津市教育センター内)・アミ(新鳥飼公民館内)・メイト(別府コミュニティーセンター内)において、不登校児童生徒 38 名に対して、学習の補助やソーシャルスキルトレーニング※等、自立支援の取組を実施した。 ・適応指導教室や、各校の校内適応指導教室、家庭等にさわやかフレンド★を派遣し、不登校児童生徒に対する支援を実施した。
今後の取組	・引き続き市内 3 ヶ所の適応指導教室で、不登校の児童生徒に対して社会的な自立を目指した支援の取組を実施する。 ・各校の校内適応指導教室担当との連携を密にし、不登校児童生徒に対する支援を充実させる。

※ソーシャルスキルトレーニング：社会で生きていくために必要となる対人関係を中心としたスキルを身につける訓練。

★の説明は 72 頁に記載しています。

基本目標６　学びを続ける機会づくり

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 目標値
1	公民館講座アンケートで「これからも受講を継続したい」と回答した割合	89.0%	83.7%	R3 実績値（88.3%）より増加

施策及び事業（取組）

施策		内容	事業（取組）
⑬	多様な学習機会の充実	多様化するニーズに合わせた講座やイベント等の充実や学びのきっかけとなる情報提供及び相談体制の充実など、市民が学びつづける機会づくりを推進します。また郷土摂津を知り、地域の将来像を描くツールとして、本市の歴史をまとめた「新修摂津市史」を刊行します。	・公民館講座開催事業 ・家庭教育学級事業 ・生涯学習出前講座開催事業 ・生涯学習推進本部運営事業 ・文化財保護事業 ・摂津市史編さん事業

基本目標６　学びを続ける機会づくり

⑬多様な学習機会の充実

事業（取組）名	公民館講座開催事業	予算額（取組内容に係る予算）	3,253 千円（3,253 千円）
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算）	2,876 千円（2,876 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
公民館講座アンケートにて、「これからも受講を継続したい」と回答した割合	89.0%	83.7%	B

取組実績	・「幼児・児童」「社会・経済」「人権・福祉」「平和・国際化」「生活・環境」「自然・技術」「文化・芸術」7 分野の講座及び合同講座を、市内公民館で 330 回（前年度比+26 回）実施し、5,075 人（前年度比+1,028 人）が受講した。 ・オンライン講座「はじめての沐浴」を実施した。
今後の取組	・引き続き、「こども」「健康」「安全・安心」の 3 つの重点テーマを考慮し、日常生活に役立つ知識や身近な課題など、市民の様々なニーズに合わせた講座を開催する。

事業（取組）名	家庭教育学級事業※	予算額（取組内容に係る予算）	566 千円（566 千円）
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算）	353 千円（353 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
家庭教育学級・幼児家庭教育学級・女性学級の参加団体数	10 団体	9 団体	B

取組実績	・9 団体が、団体ごとにリトミックやケーキ作り、体によい食事、健康等の学習会を 87 回（前年度比－18 回）開催した。 ・各団体同士の繋がりを持つ機会を提供するため、合同交流会を 2 回開催した。
今後の取組	・引き続き、団体を対象とした学習会及び交流会を開催するとともに、新規加入団体を募るため、ホームページや広報紙にて団体及び参加者募集の周知を図る。

※家庭教育学級事業：幼児家庭教育学級・家庭教育学級・女性学級の 3 学級があり、家庭教育に関する学習の機会を提供している事業

基本目標６　学びを続ける機会づくり

事業（取組）名	生涯学習出前講座開催事業	予算額（取組内容に係る予算）	―
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算）	―

指標	R５目標値	R５実績値	取組評価
講座受講者アンケートで「非常に満足」または「満足」と回答した割合	85.0%	95.6%	A

取組実績	・まいどおおきに出前講座の行政編を 264 回（前年度比＋76 件）実施し、10,971 人（前年度比＋3,098 人）が受講した。また、市民編を 15 回（前年度比＋2 件）実施し、155 人（前年度比－58 人）が受講した。
今後の取組	・行政編メニューのうち「みんなの防災」や「防火防災訓練」等、防災関係の講座受講ニーズが高いことから、同講座のオンラインやオンデマンドでの開催について検討する。

事業（取組）名	生涯学習推進本部運営事業	予算額（取組内容に係る予算）	30 千円（30 千円）
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算）	30 千円（30 千円）

指標	R５目標値	R５実績値	取組評価
研修会参加者アンケートで「学びの場となった」と回答した割合	75.0%	76.9%	A

取組実績	・社会教育関係者と行政職員を対象に、「大阪府ヘリテージマネージャーの活動について」をテーマとした生涯学習合同研修会を実施し、13 人（前年度比－7 人）が参加した。
今後の取組	・引き続き、社会教育関係者及び行政職員を対象とした生涯学習の推進に関する知識を学ぶ研修会を開催するとともに、参加者数増加に向けて、ニーズの高い研修テーマの設定を検討する。

基本目標６　学びを続ける機会づくり

事業（取組）名	文化財保護事業	予算額（取組内容に係る予算）	3,954 千円（3,954 千円）
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算）	2,800 千円（2,800 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
文化財関連資料収蔵数	5,500 点	5,605 点	A

取組実績	・市内文化財保護のため、味舌天満宮摂社八幡神社本殿（府指定文化財）修繕にかかる補助金を交付した。 ・JR 千里丘西口再開発に伴う埋蔵文化財発掘調査を実施した。 ・開発に先立つ試掘・立会調査を 6 件（前年度比-3 件）実施した。 ・摂津市の歴史を後世に伝えるため、「ふるさと摂津講座」を開催し、31 人（前年度比-24 人）が参加した。
今後の取組	・味舌天満宮本殿（府指定文化財）修繕にかかる補助金を交付する。 ・旧一津屋公会堂（市指定有形文化財）の建物の現状を把握するため、耐久性等の調査を実施する。 ・文化財関連資料の収蔵・整理・保存を進め活用を図る。 ・「ふるさと摂津講座」の参加者が減少しているため、講座以外に歴史に関するフィールドワークを取り入れるなど、講師である「ふるさと摂津案内人」と連携し、講座内容を検討する。

事業（取組）名	摂津市史編さん事業	予算額（取組内容に係る予算）	33,830 千円（33,830 千円）
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算）	30,827 千円（30,827 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
①『新修摂津市史』の刊行数	2 冊	2 冊	A
②本市に関連した歴史資料保存数	43,000 点	43,000 点	

取組実績	・歴史資料の収集・整理・保存を実施し、累計 43,000 点の保存を終えた。 ・コミュニティプラザで市史刊行記念講演会を開催し、65 人が参加した。 ・令和 6 年度刊行に向け、『新修摂津市史 現代・民俗編』第 3 巻の執筆作業を進めた。
今後の取組	・保存した資料を適正に管理するため、引き続き整理作業を進める。 ・市の各種計画や起案文書のうち、歴史資料として保存すべき文書を選別・収集する仕組みづくりを検討する。

基本目標７　学びを支える環境づくり

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 目標値
1	公民館利用者アンケートで「また利用したい」と回答した割合	87.0%	84.4%	R3 実績値(84.3%)より増加
2	図書館利用者アンケートで「また利用したい」と回答した割合	88.0%	86.8%	R3 実績値(85.7%)より増加

施策及び事業（取組）

施策		内容	事業（取組）
⑭	**学習成果の発表・活躍の場の充実**	学習意欲向上のため、イベントや講座等で日頃の学習成果の発表の場を充実します。また、市内で開催されている講座やボランティア活動等の情報を発信するとともに、身に付けた知識・技能を活かし、人が学び合いお互い高め合う継続した学びを支援します。	・公民館まつり事業 ・生涯学習フェスティバル開催事業 ・こどもフェスティバル開催事業
⑮	**社会教育施設の活用**	公民館は、生涯学習活動及び地域コミュニティ活動の拠点として、より多くの市民が活用できるよう、空室の有効活用等を行います。また、市民図書館及び鳥飼図書センターの図書館サービスの充実を図り、地域全体の教育向上に資する展開を行います。	・公民館運営事業 ・図書館運営事業 ・子ども読書活動推進事業

基本目標７　学びを支える環境づくり

⑭学習成果の発表・活躍の場の充実

事業（取組）名	公民館まつり事業	予算額（取組内容に係る予算）	160 千円（160 千円）
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算）	154 千円（154 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
公民館まつり実行委員会アンケートで、「他クラブの活動を知ることにより、活動意欲が向上した。」と答えた割合	75.0%	74.8%	B

取組実績	・公民館の利用団体（公民館登録クラブ等）の日頃の活動の成果を展示・発表する機会として、全ての公民館において公民館まつりを開催した。
今後の取組	・公民館まつり実行委員会や公民館利用団体と連携し、日頃の活動の成果を展示・発表する機会のひとつである公民館まつりを引き続き実施する。

事業（取組）名	生涯学習フェスティバル開催事業	予算額（取組内容に係る予算）	2,706 千円（2,706 千円）
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算）	679 千円（679 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
生涯学習フェスティバル実行委員会参加団体数	20 団体	13 団体	C

取組実績	・「私たちにできる地球温暖化対策」をテーマに「生涯学習フェスティバル市民のつどい」を開催し、57 人が参加した。 ・大正川河川敷公園に会場を移し、6 年ぶりに「生涯学習フェスティバルろうそくファンタジー」を開催し 500 人が来場した。
今後の取組	・「摂津市生涯学習フェスティバル実行委員会」の参加団体が 2 団体減少しており、同実行委員会に新規団体を増やすことを働きかけていく必要がある。

事業（取組）名	こどもフェスティバル開催事業	予算額（取組内容に係る予算）	4,747 千円（4,747 千円）
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算）	3,662 千円（3,662 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
こどもフェスティバル実行委員会参加団体数	40 団体	34 団体	C

取組実績	・令和元年度以降 4 年ぶりとなる「こどもフェスティバル」を開催し、約 8,000 人が来場したが、少雨による天候不良のため、来場者は令和元年度に比べ約 5,000 人減少した。
今後の取組	・雨天時は、文化ホール等の施設で代替え実施するなど、天候に左右されない運営方法を検討する。

基本目標７　学びを支える環境づくり

⑮社会教育施設の活用

事業（取組）名	公民館運営事業	予算額（取組内容に係る予算）	37,459 千円（37,459 千円）
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算）	31,403 千円（31,403 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
公民館利用者アンケートにて「また利用したい」と回答した割合	87.0%	84.4%	B

取組実績	・安威川公民館を除く市立公民館で図書の入替作業及び新規購入を行い、計 11,434 冊（前年度比＋44 冊）の図書を貸し出した。 ・市立公民館の利用件数は、8,206 件（前年度比-30 件）であった。 ・オンラインで使用申請が出来るよう、公共施設予約システムを導入した。
今後の取組	・引き続き、より多くの市民が快適に公民館を利用できるよう、施設に設置する備品及び図書の充実を図る。 ・利用者の利便性向上を図るため、公共施設予約システムを活用し、インターネットから貸室の空き状況を確認できるよう運用を進める。

事業（取組）名	図書館運営事業	予算額（取組内容に係る予算）	134,112 千円（134,112 千円）
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算）	133,983 千円（133,983 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
電子図書貸し出し冊数	4,800 冊	6,490 冊	A

取組実績	・電子図書館利用者数増加のため、電子図書館体験会を実施した。 ・小学１年生、中学１年生へ図書館利用案内と貸出券申込書を配布した。 ・おはなし会、ぬいぐるみお泊り会、本の福袋などの各種イベントを実施した。
今後の取組	・引き続き児童生徒への利用案内と貸出券申込書の配布を行うとともに、利便性向上のため電子図書の充実を図る。

基本目標７　学びを支える環境づくり

事業（取組）名	子ども読書活動推進事業	予算額（取組内容に係る予算）	―
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算）	―

指標	R５目標値	R５実績値	取組評価
子ども（0歳～18歳）の図書館利用者登録率	24.0%	21.1%	B

取組実績	・おはなし会を149回（前年度比＋39回）実施し、延べ1,022人（前年度比＋273人）が参加した。 ・「ぬいぐるみお泊り会」※1を開催し、計26人（前年度比+9人）が参加した。 ・「本の福袋」※2を両図書館で計4回実施し、159袋（前年度比＋19袋）を貸し出した。 ・図書貸出券の新規登録の案内を小中学校の全児童生徒に配布した。
今後の取組	・図書館だより等の広報物を学校へ配架するなど、学校への周知を強化する。 ・子どもの読書環境の充実及び居場所づくりのため、絵本コーナーにカーペットやソファを設置する等、子どもが本に親しめる環境を整備する。

※1　ぬいぐるみお泊り会：子どもたちのお気に入りのぬいぐるみが図書館で過ごす様子を撮影し、レポートすることで本への関心を持ってもらうことを目的としたイベント。

※2　本の福袋：図書館員おすすめの本3冊を福袋に入れて貸出を行うイベント。

基本目標８　学びを活かす人づくり

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 目標値
1	生涯学習大学受講者アンケートで「教養を深めることができた」と回答した割合	100%	95%	R3 実績値(100%)より増加
2	生涯学習大学受講者アンケートで「今後、地域や社会活動に役立てたい」と答えた割合	100%	83.3%	R3 実績値(100%)より増加

施策及び事業（取組）

施策		内容	事業（取組）
⑯	多様な主体による指導者の育成	講座などをきっかけとした仲間づくり、絆づくりを進め、「学ぶ人」から「指導者」への学習活動の担い手を育成します。また、地域における学習活動の活発化を図るため、地域・団体活動のリーダー、コーディネーター、ボランティア等の人材を育成します。	・青少年団体育成事業 ・青少年リーダー養成事業 ・せっつ生涯学習大学事業

基本目標８　学びを活かす人づくり

⑯多様な主体による指導者の育成

事業（取組）名	青少年団体育成事業	予算額（取組内容に係る予算）	2,790 千円（2,790 千円）
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算）	2,790 千円（2,790 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
活動支援団体の会員数	1,177 人	741 人	C

取組実績	・地域で主体的に活動する団体（ボーイスカウト・ガールスカウト・こども会育成協議会・淀川わいわいガヤガヤ祭実行委員会）に対して補助金を交付し、活動支援を行った。
今後の取組	・青少年の健全な成長を目指して、引き続き地域で主体的に活動する団体（ボーイスカウト・ガールスカウト・こども会育成協議会・淀川わいわいガヤガヤ祭実行委員会）の活動を支援する。

事業（取組）名	青少年リーダー養成事業	予算額（取組内容に係る予算）	2,726 千円（2,726 千円）
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算）	2,572 千円（2,572 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
青少年リーダー養成事業参加者アンケートにて「学んだことを生活で活かしたい」と答えた割合	85.0%	80.6%	B

取組実績	・小学生を対象に、グループ活動を通して自主性・積極性・創造性を身につけ、地域で活動するリーダーを養成するため、「チャレンジャークラブ」を夏冬２回実施した。
今後の取組	・地域で活動するリーダーを養成するため、引き続き「チャレンジャークラブ」を実施する。

基本目標８　学びを活かす人づくり

事業（取組）名	せっつ生涯学習大学事業	予算額（取組内容に係る予算）	441 千円（441 千円）
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算）	393 千円（393 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
生涯学習大学受講者アンケートで「まちづくりについて考える機会になった」と回答した割合	70.0%	71.4%	A

取組実績	・せっつ生涯学習大学を全 12 回開催し、19 人（前年度比＋8 人）が通年受講した。また、単発受講で計 49 人（前年度比+35 人）が受講した。 ・せっつ生涯学習大学院を全 3 回開催し、4 人が受講した。
今後の取組	・引き続き、生涯学習リーダーやコーディネーターの養成、学習の機会の提供のため、せっつ生涯学習大学を開催する。 ・講座のテーマによっては、単発受講の申し込みが多いものもあったため、アンケートを踏まえ、受講者の増加に向けた講座を設定する。

基本目標９　安全安心で快適な教育環境づくり

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 目標値
1	保護者アンケートで「学校は安全安心に配慮した施設・設備・環境を整えている」と肯定的回答をした割合	88.0%	90.5%	R3 実績値(87.0%)より増加

施策及び事業（取組）

施策		内容	事業（取組）
⑰	教育施設の整備	老朽化が進む施設の改修や、安全安心で快適な教育環境・生活環境の整備、地域住民の避難所としての防災機能の強化を図ります。また児童生徒のより良い教育環境を整えるため、学校規模及び配置の適正化を図ります。	・小中学校施設改修事業【重点】 ・小中学校施設運営事業【重点】 ・小中学校通学区域等事業【重点】 ・図書館施設管理事業
⑱	感染症の予防・対策	学校は児童生徒が集団生活をしており、また新型コロナウイルスをはじめとする感染症が発生、拡大しやすい状況であるため、学校の新しい生活様式に沿って、感染予防及び対策を図ります。	・小中学校保健事業 ・学校マネジメント支援事業（再掲）
⑲	学校給食の安全衛生管理	小学校給食は小学校給食調理場の衛生管理を徹底し、食の安全を確保します。中学校のデリバリー方式選択制給食は継続実施し、並行して、全員喫食を目標とした給食センター方式を検討します。	・中学校給食事業（再掲）【重点】 ・小学校給食事業（再掲）

基本目標９　安全安心で快適な教育環境づくり

⑰教育施設の整備

事業（取組）名	小中学校施設改修事業 【重点課題】	予算額（取組内容に係る予算）	504,066 千円（488,210 千円）
担当課	教育政策課	決算額（取組内容に係る決算）	358,849 千円（354,893 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
体育館にエアコンの設置が完了した学校数	5 校/15 校	5 校/15 校	A
千里丘小学校建て替え工事の進捗率	20%	20%	

取組実績	・千里丘小学校の建て替えに向け、プール施設を解体し、仮設校舎を建設した。［写真 1］ ・鳥飼小学校、味舌小学校及び第四中学校の体育館へ空調設備を導入した。［写真 2］ ・味生小学校、三宅柳田小学校、第一中学校、第二中学校及び第五中学校の体育館への空調設備導入に係る実施設計を完了した。 ・摂津小学校、別府小学校、鳥飼西小学校及び鳥飼東小学校の体育館への空調設備導入に係る実施設計に着手した。
今後の取組	・千里丘小学校の建て替えについて、令和 9 年度の完成に向け、学校・児童・保護者・地域住民等に対する影響を考慮し、十分に配慮しながら既存校舎の解体や新校舎の建設等を進める。 ・令和 7 年度の全小中学校の体育館へのエアコン設置完了に向け、設置工事及び実施設計を計画的に行う。

基本目標９　安全安心で快適な教育環境づくり

［写真 1］
（プール解体工事の様子）

（仮設校舎の様子）

［写真 2］
（体育館空調設備工事の様子）

（災害時の活用を想定した操作説明会の様子）

※体育館空調設備【概要】
「ＧＨＰ（ガスエンジン・ヒートポンプ・エアコン）（都市ガス）」を採用。
主熱源は都市ガス、災害時は備蓄プロパンガスを活用。

<u>通常時</u>
・都市ガス及び電気で稼働。
<u>災害時（停電時）</u>
・都市ガスのみで稼働。（電源自立型装置のため自動切替）
<u>災害時（停電及び都市ガス供給停止時）</u>
・備蓄プロパンガスを活用して稼働。（プロパン・エアー発生装置を活用）

基本目標９　安全安心で快適な教育環境づくり

事業（取組）名	小中学校施設運営事業 【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	427,936 千円（96,962 千円）
担当課	教育政策課	決算額（取組内容に係る決算）	376,370 千円（106,891 千円）

指標	R５目標値	R５実績値	取組評価
校舎全体の照明の LED 化が完了した学校数	14 校/15 校	14 校/15 校	A
学校トイレの洋式化率	59.8%	59.8%	

取組実績	・味舌小学校、摂津小学校、別府小学校、三宅柳田小学校、第一中学校及び第四中学校の照明器具を LED 化した。［写真 1］ ・トイレの一部改修など老朽化した施設、設備等の改修等を実施した。［写真 2］
今後の取組	・今回のリース方式による LED 化導入についての検証等を行い、次回更新時の改善に繋げる。 ・トイレの洋式化等の大規模改修については、現在体育館のエアコン設置事業を優先的に進めているため、取組を中断しているが、令和８年度から取組を再開し、整備を進める。 ・安全・安心な教育環境を確保するため、引き続き老朽化した施設、設備等の改修等を実施する。

［写真 1］（照明 LED 化工事の様子）

［写真 2］

（トイレ洋式化改修前）

（トイレ洋式化改修後）

基本目標９　安全安心で快適な教育環境づくり

事業（取組）名	小中学校通学区域等事業 【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	24,705 千円（－）
担当課	教育政策課	決算額（取組内容に係る決算）	22,209 千円（－）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
適正規模・適正配置計画の策定	計画の策定	計画の策定	A

取組実績	・令和 4 年度に提出された小中学校通学区域等審議会の答申に基づき、「鳥飼地域における学校の適正規模・適正配置計画」を策定した。［写真 1］ ・鳥飼小学校と鳥飼東小学校の統合に伴う諸課題について協議する「摂津市立鳥飼・鳥飼東小学校統合協議会」を設置した。 ・鳥飼小学校と鳥飼東小学校の統合に関わる「摂津市立学校条例」を改正した。（令和 8 年 4 月 1 日施行）
今後の取組	・当該統合協議会において、鳥飼小学校と鳥飼東小学校の統合に係る諸課題について協議を進め、統合を円滑に推進する。 ・市民に対して、鳥飼小学校と鳥飼東小学校の統合に係る情報発信を行う。

［写真 1］
（鳥飼・鳥飼東小学校の統合に関する説明会の様子）

基本目標９　安全安心で快適な教育環境づくり

事業（取組）名	図書館施設管理事業	予算額（取組内容に係る予算）	13,935 千円（13,935 千円）
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算）	6,961 千円（6,961 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
図書館利用者アンケートで「図書館の設備や機器について」満足・ほぼ満足と答えた割合	85.0%	81.8%	B

取組実績	・市民図書館の外壁改修工事に係る実施設計を行った。 ・鳥飼図書センターの玄関の雨漏り改修及び外付け照明の LED 化工事を実施した。
今後の取組	・利用者の安全安心な施設の利用に向けて、市民図書館の外壁修繕を実施するとともに、引き続き定期的な施設点検及び不具合箇所の修繕を実施する。 ・市民図書館のトイレ洋式化に向け、バリアフリー化を考慮した改修工事実施設計を行う。

⑱感染症の予防・対策

事業（取組）名	小中学校保健事業	予算額（取組内容に係る予算）	37,679 千円（37,679 千円）
担当課	教育政策課	決算額（取組内容に係る決算）	32,639 千円（32,639 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
児童生徒アンケートにおいて「帰宅後も忘れずに手洗いをしている」と回答した割合	80.0%以上	（小）91.1% （中）88.6%	A

取組実績	・新型コロナウイルスを含む感染症予防のため、マスクやペーパータオル、ハンドソープなどの保健消耗品を各校へ配付した。 全小中学校において、「学校欠席者情報収集システム」を用い情報集約し、集約した感染症情報をもとに感染症抑制のための対策を発信した。
今後の取組	・新型コロナウイルスを含む感染症に対応した学校運営を支援するため、各校に配置している感染症対策備品のメンテナンス及び消耗品配付を行う。

事業（取組）名	学校マネジメント支援事業（再掲）	予算額（取組内容に係る予算）	198,576 千円（37,678 千円）
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算）	167,874 千円（34,862 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
教職員アンケートにおいて「あなたは、スクールサポーター★の配置によって事務負担が軽減したと思いますか」の肯定的回答	92.0%	94.9%	A

取組実績	・スクールサポーターを全小中学校へ派遣した。 ・スクールサポーターの派遣により、新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症に移行するまでの間、学校内での感染拡大防止及び教職員の消毒等の感染症対策にかかる事務負担を軽減することができた。
今後の取組	・5 類感染症に移行後は各教員が学校衛生管理を徹底し、各種感染症予防を努める。

★の説明は 72 頁に記載しています。

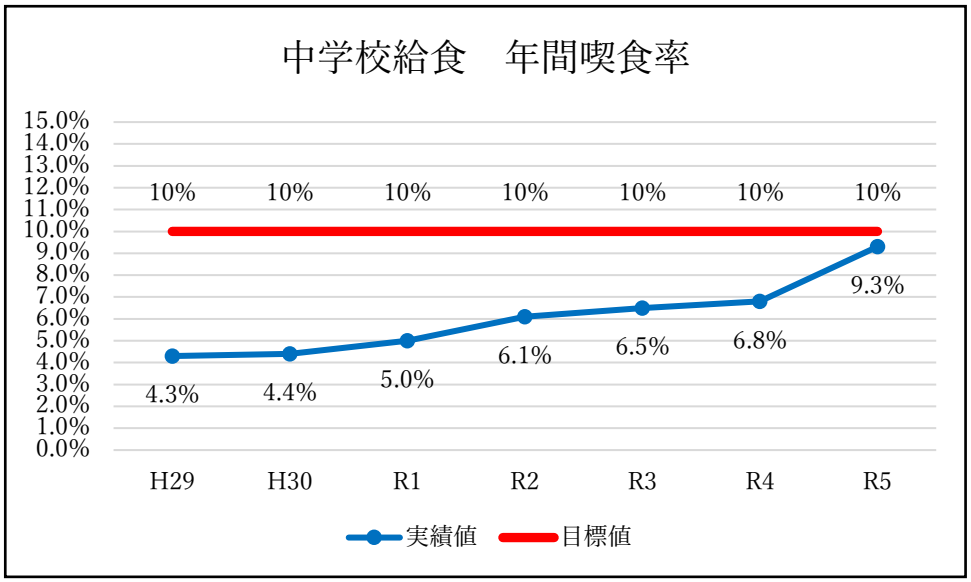
⑲学校給食の安全衛生管理

事業（取組）名	中学校給食事業（再掲） 【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	86,605 千円（11,681 千円）
担当課	教育政策課	決算額（取組内容に係る決算）	80,710 千円（7,056 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
中学校給食喫食率	10.0%	9.3%	B

取組実績	・給食喫食率向上に向けて、乗り入れスクール時の給食提供や人気献立 week の実施及び毎週水曜日の給食に牛乳の代わりに乳酸菌飲料を提供した。［グラフ 1］ ・全中学校にて新入生保護者試食会を実施した。 ・令和 6 年度 4 月から開始するごはんの量の選択制に向けて予約システムを改修し、保護者及び生徒に周知した。 ・全員喫食によるセンター方式での給食実施に向け、「摂津市学校給食センターに係る基本構想・基本計画」を策定した。
今後の取組	・デリバリー選択制方式での給食喫食率向上に向けて、引き続き人気献立 week 等のイベントの開催、保護者向け試食会等に取り組む。 ・大阪成蹊大学と連携し、より魅力的な給食イベントポスターの作成を行う。 ・令和 8 年度からの全員喫食の給食実施に向けて、基本構想・基本計画の内容に基づいた給食センター建設に係る基本設計・実施設計を行う。

［グラフ 1］年間喫食率の推移



基本目標９　安全安心で快適な教育環境づくり

事業（取組）名	小学校給食事業	予算額（取組内容に係る予算）	427,070 千円（427,070 千円）
担当課	教育政策課	決算額（取組内容に係る決算）	398,141 千円（398,141 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
食中毒の発生件数	0 件	0 件	A

取組実績	・抜き打ちのふき取り検査や衛生管理研修を実施した。 ・衛生管理マニュアルの順守確認のための効果検証会議を実施した。
今後の取組	・食中毒防止のため、引き続きふき取り検査や衛生管理研修、効果検証会議等を実施する。

基本目標１０　地域全体で教育に取り組む体制づくり

教育振興基本計画で設定した目標指標

	指標名	R5 目標値	R5 実績値	R7 目標値
1	「コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりまった」と回答した割合【◆】(小中学校)	―	66.7%	70.0%

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。「地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを活かして、学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動を保護者や地域の人との協働による活動を行っている」の質問項目削除に伴い、R5 点検・評価報告書から成果指標を変更しています。

施策及び事業（取組）

施策		内容	事業（取組）
⑳	**学校・家庭・地域の連携強化**	学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことで、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体になって、特色ある、「地域とともにある学校づくり」を推進します。	・学校協議会及び学校運営協議会の積極的運営 ・積極的な情報発信 ・地域学校連携活動支援事業
㉑	**子どもの安全見守り活動の充実**	学校・家庭・地域と一体となって、登下校時の交通・防犯の観点で見守り活動を行い、また通学路の安全対策を行うなど、子どもたちの安全を確保します。	・小学校施設改修事業（再掲）・安全対策事業【重点】 ・スクールガード・リーダー配置事業 ・小中学校通学区域等事業（再掲） ・地域子ども安全安心事業

基本目標１０　地域全体で教育に取り組む体制づくり

⑳学校・家庭・地域の連携強化

事業（取組）名	学校協議会※1 及び学校運営協議会※2 の積極的運営	予算額（取組内容に係る予算）	198,576 千円（300 千円）
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算）	167,874 千円（51 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
「地域学校協働本部やコミュニティスクールなどの仕組みを活かして、学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動を保護者や地域の人との協働による活動を行っている」と回答した学校の割合【◆】（小中学校）	53.3%	―	A
「コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりまった」と回答した割合【◆】（小中学校）	―	66.7%	

取組実績	・学校管理職や中核を担う教職員対象に文部科学省 CS マイスターを講師に招聘した研修会を実施し、各校のコミュニティスクールに対する理解が進んだ。 ・令和 6 年度の新規モデル校に対して委員の人選や地域連携など具体的事例を学ぶ研修会を実施した。
今後の取組	・学校運営協議会（コミュニティスクール）の運営に向けて、令和 4 年度に指定した 1 校のモデル校に加えて、新たに 3 校を加えて実施する。 ・市内で学校協議会を発展させた学校運営協議会を増やし、各校と地域が連携した取組を推進できるよう支援する。

※1 学校協議会：保護者や地域住民の声を学校運営に反映し、また校長の求めに応じて、保護者・地域住民・有識者等が様々な視点から意見交換や提言を行う組織。校長が委員を委嘱し、年間を通じて計画的に会議や行事参観等を行う。

※2 学校運営協議会：教育委員会から委嘱・任命された地域住民や保護者、学識経験者などが委員となり、一定の権限と責任をもって学校運営に関わる。本市では、令和 4 年度より段階的な設置を進めている。学校運営協議会が設置された学校を「コミュニティスクール」と呼ぶ。

【◆】全国学力・学習状況調査質問紙調査における質問項目を指標としています。「地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを活かして、学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動を保護者や地域の人との協働による活動を行っている」の質問項目削除に伴い、R5 点検・評価報告書から指標を変更しています。

基本目標１０　地域全体で教育に取り組む体制づくり

事業（取組）名	積極的な情報発信	予算額（取組内容に係る予算）	―
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算）	―

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
保護者アンケートにおいて「本市の教育活動等に関する動画（YouTube チャンネル）による発信は、学校や市の取組を理解することにつながっていると思いますか」と肯定的回答をした保護者の割合	80.0%	66.9%	C

取組実績	・学校広報活動支援員が中心となって小中学校へ取材を行い、子どもたちが学んでいる様子や教職員の頑張る姿を YouTube や『広報せっつ』にて発信した。 ・講師募集の YouTube を発信することで、学校の教員不足解消につながった。
今後の取組	・引き続き、小中学校の取組に関する情報を YouTube にて発信し、学校、家庭、地域が連携した教育力の向上につなげる。 ・キャリア教育応援企業等の子どもに対する思いや、実際に学校と連携した取組を発信し、地域と学校とのつながりを推進する。

事業（取組）名	地域学校連携活動支援事業	予算額（取組内容に係る予算）	1,658 千円（1,658 千円）
担当課	こども政策課	決算額（取組内容に係る決算）	1,051 千円（1,051 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
各中学校の主行事の参加者数	2,000 人	1,400 人	C

取組実績	・各中学校区で地域教育協議会 （すこやかネット）を構成し、清掃活動のほかお餅つき大会やたこあげゲーム大会などのレクレーションや中学生と幼稚園児との合同防災訓練など、校区ごとに趣向を凝らした催しを参画団体の協力の下で行い、地域と学校の連携を深めた。
今後の取組	・すこやかネット発足から 20 年以上が経過し、マンネリ化及び形骸化の傾向がある。すこやかネットの活性化に向け、他市や他校区の活動事例を紹介するなど情報提供に努めるとともに、コミュニティスクールとの連携について検討を行う。

㉑子どもの安全見守り活動の充実

事業（取組）名	小学校施設改修事業（再掲） 安全対策事業【重点事業】	予算額（取組内容に係る予算）	391,995 千円（15,856 千円） 18,610 千円（4,356 千円）
担当課	教育政策課	決算額（取組内容に係る決算）	277,298 千円（3,956 千円） 15,466 千円（2,759 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
学校運営中の不審者侵入事案	0 件	0 件	A

取組実績	・小学校、こども園の受付員を平日及び土曜日のほか、休日に実施される行事開催時にも配置した。 ・公用車での移動中における見守り活動及び日本郵便㈱による配達時における見守り活動を実施した。［写真 1］ ・味生小学校通用門のオートロック化改修工事を実施した。［写真２］
今後の取組	・受付員の配置や見守り活動の実施等により、学校園への不審者侵入事案は発生しなかった。 ・日本郵便㈱との連携事業による見守り活動について、市民等への認知度を高め、犯罪抑止力を向上させるなど更なる取組み強化を図る。 ・味生小学校をモデル校として、今後の受付員体制の見直しとあわせて、課題を整理し、各小学校における通用門のオートロック化を進める。

［写真 1］
（マグネットを貼り付けた公用車による見守り活動）

［写真 2］
（味生小学校通用門オートロック化）

基本目標１０　地域全体で教育に取り組む体制づくり

事業（取組）名	スクールガード・リーダー※配置事業	予算額（取組内容に係る予算）	546 千円（546 千円）
担当課	学校教育課	決算額（取組内容に係る決算）	486 千円（486 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
スクールガード・リーダー巡回数	220 回以上	487 回	A

取組実績	・登下校時における子どもたちの安全を確保するため、スクールガード・リーダーを 5 名配置した。 ・警察と連携した連絡会を実施し、通学路における防犯・交通安全について協議した。
今後の取組	・引き続きスクールガード・リーダーを配置し、子どもたちの交通安全確保のほか防犯への啓発や学校への助言などを行うことで、地域と一体となった見守り体制を維持し、児童生徒の安全を確保する。

※スクールガードリーダー：子どもたちの安全・安心確保のため、学校や通学路での巡回指導を行うことで、危険箇所の把握や改善、児童生徒への安全啓発の中心となる指導員。

事業（取組）名	小中学校通学区域等事業（再掲）	予算額（取組内容に係る予算）	24,705 千円（24,705 千円）
担当課	教育政策課	決算額（取組内容に係る決算）	22,209 千円（22,209 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
通学路における改善要望があった項目のうち、改善可能箇所に対する措置完了率	100%	100%	A

取組実績	・通学路等交通安全プログラムに基づき、関係機関と協議を行い、通学路の危険箇所について、グリーン舗装や掲示板等の安全対策を行った。 ・市内 26 箇所に交通専従員を配置し、登下校時の交通安全を確保するため、児童の見守り活動を行った。
今後の取組	・引き続き、関係課及び関係機関と連携し、危険箇所の改善に取り組む。

基本目標１０　地域全体で教育に取り組む体制づくり

事業（取組）名	地域子ども安全安心事業	予算額（取組内容に係る予算）	446 千円（446 千円）
担当課	生涯学習課	決算額（取組内容に係る決算）	357 千円（357 千円）

指標	R5 目標値	R5 実績値	取組評価
こども 110 番の家の登録件数	1,375 件	1,370 件	B

取組実績	・こども 110 番の啓発物品として新小学 1 年生の保護者に自転車の前かごカバーを配布した。 ・こども 110 番の家の協力者数は 1,370 件（前年度比+38 件）となった。 ・見守りボランティアは 13 人（前年度比±0 人）と協力者数を維持している。
今後の取組	・こども 110 番の家の登録件数を維持するとともに、見守りボランティア登録者数の増加を図るため、広報紙やホームページ等で、活動の周知や協力者募集を行う。 ・子どもの見守りシステムについて、先進市の取組事例や活用方法を参考に、導入に向けた検討を行う。

摂津市が配置等している支援人材の一覧

名称	内容	配置数	掲載
国際理解教育社会人講師	児童生徒に他国・地域の言語や文化について、活動を通じて説明・紹介を行う。	10 人	P. 10
日本語指導講師	海外からの帰国子女及び渡日児童生徒に対する適切な学校教育の機会の確保を図るために母語指導も含めて日本語指導を行う。	17 人	P. 10
読書活動推進支援員	児童生徒の読書活動を推進させることを目的とし、学校図書館の環境整備や図書の推薦、教員の読書指導の支援等を行う。	10 人	P. 11
ＩＣＴ支援員	市内小中学校の教員に対して、タブレット型 PC の活用事例等や授業提案を行う	5 人	P. 16
教育指導嘱託員	経験の浅い教職員の授業、学級経営についての助言を行うため、市内各校への巡回指導を行う。	1 人	P. 17
学習サポーター	児童生徒の学力向上と学習習慣の定着のため、小中学校における学習活動の支援を行う。	89 人	P. 18
学校教育相談員	生活指導などについての助言を行うため、市内各校への巡回指導を行う。	1 人	P. 26
部活動指導員	部活動顧問として専門的な技術指導による生徒の技術向上と当該部活動の顧問教員の業務時間、精神的な負担軽減を行う。	6 人	P. 26
部活動補助員	当該部活動の顧問教員のサポート的役割として、生徒に対して専門的な技術指導を行う。	5 人	－
外国人英語指導助手（ＡＬＴ）	英語を母語とする外国人を中学校区に１名を通年派遣し、外国語活動や外国語の授業において学級担任や教科担当とのティームティーチングを行う。	6 人	P. 30
外国語活動支援員	学期に２回程度各小学校に派遣し、教員の外国語活動・外国語の指導力向上のためのアドバイス等を行う。	1 人	P. 30
特別支援教育推進指導員	学校における個に応じた指導と支援を充実させるため、専門家が市内各校を巡回し、指導助言を行う。	1 人	P. 38
作業療法専門員	作業療法士の視点から、児童生徒の学びの場の選択や自立活動等について指導御苑を行う。	1 人	P. 38
進路選択相談員	高等学校、専門学校、大学等への進学に際して、経済的理由等により進学または就学を行うことが困難な生徒及びその保護者に対して相談、支援を行う。	1 人	P. 41
スクールカウンセラー（ＳＣ）	児童とその保護者を対象に、発達相談や教育相談を行う。	13 人	P. 42 P. 44
スクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）	不登校や問題行動等の課題を抱えた子どもに対して、福祉の視点を取り入れた支援方法を用いて課題解決を行う。	6 人	P. 42
さわやかフレンド	不登校の児童生徒に対して、学生・大学院生による有償ボランティアが話し相手や遊び相手、学習補助を行う。	20 人	P. 44
教育支援嘱託員	適応指導教室（パル）に通う不登校の児童生徒を対象に、学習指導や社会的自立のための支援を行う。	3 人	－
スクールサポーター	教員が子どもと向き合う時間を確保するため、教職員の事務作業負担を軽減する。	31 人	P. 63
障害児等支援員	重度重複障害児童生徒が在籍する学校に配置し、対象児童生徒の生活介助・訓練・作業及び学習指導の補助を行う。	1 人	－
教育活動支援員	校長の学校経営方針のもと児童生徒の個別の学習指導や生活指導の支援、集団指導の支援などを行う。	68 人	－